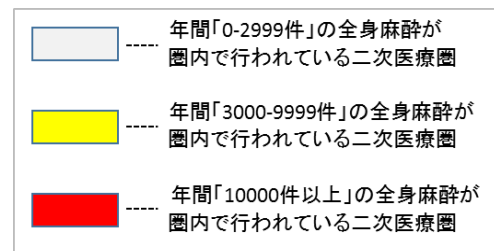
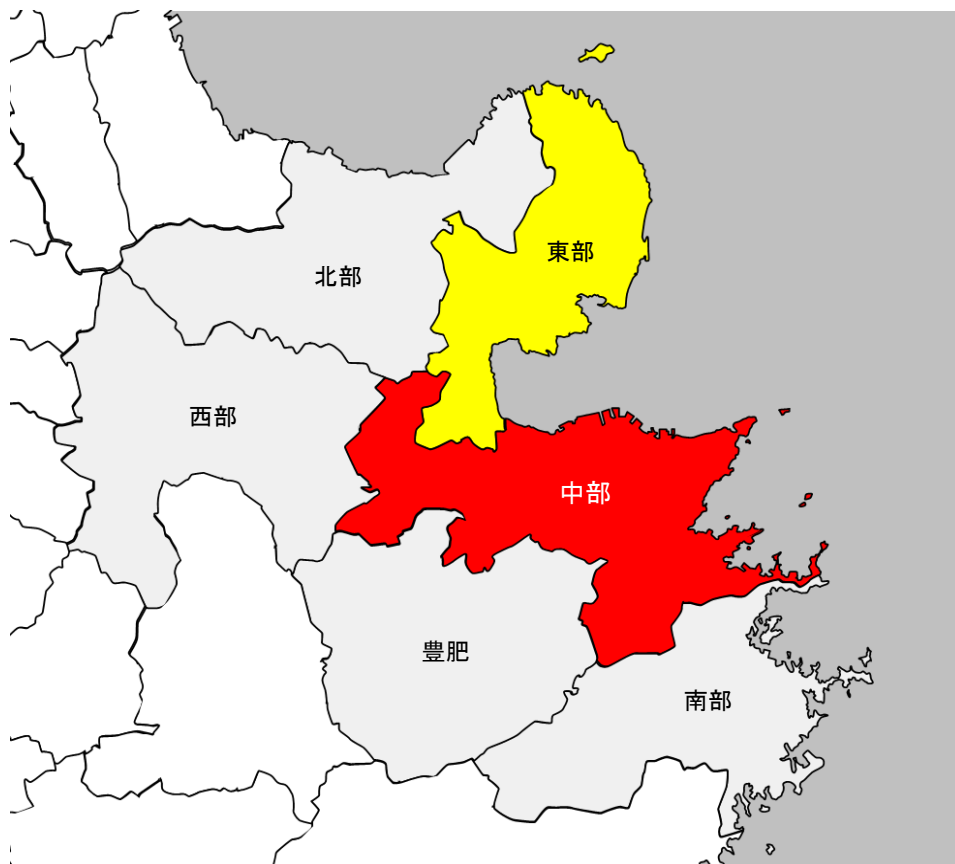


# 44. 大分県

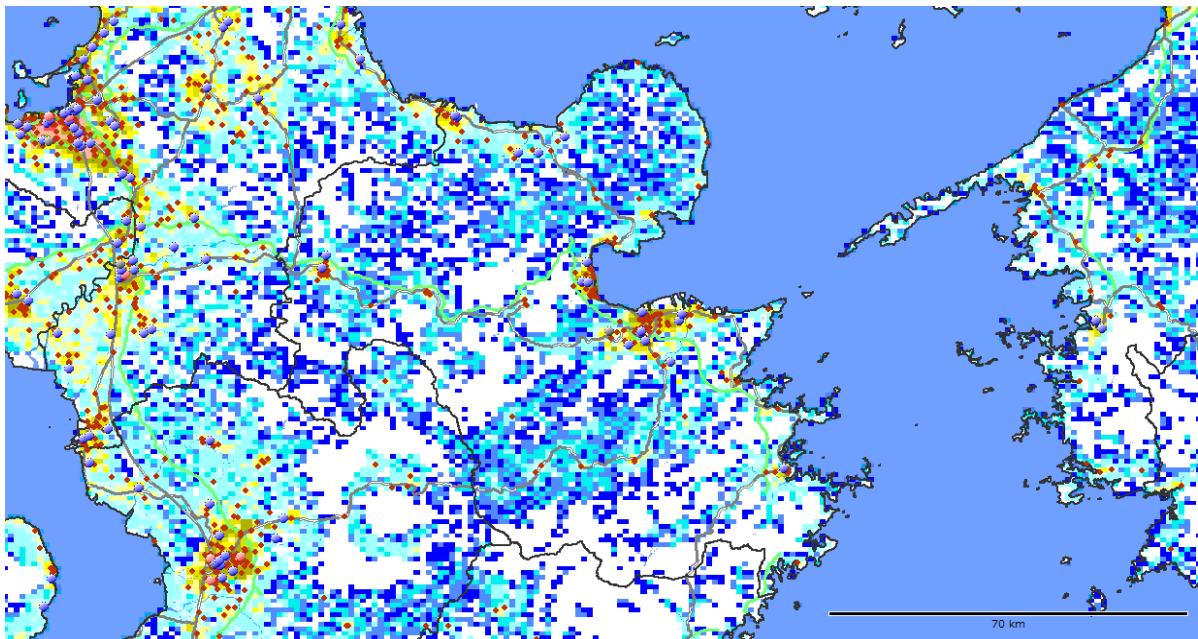


目次

大分県	44	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	44	-	8
1. 東部医療圏	44	-	20
2. 中部医療圏	44	-	25
3. 南部医療圏	44	-	30
4. 豊肥医療圏	44	-	35
5. 西部医療圏	44	-	40
6. 北部医療圏	44	-	45

# 44. 大分県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （大分県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 大分県は、総人口約1169千人（2015年推計）、面積6340km<sup>2</sup>、人口密度は184人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 大分県の総人口は2025年に1094千人へと減少し（2015年比－6%）、2040年に955千人へと減少する（2025年比－13%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の184千人が、2025年にかけて222千人へと増加し（2015年比＋21%）、2040年には217千人へと減少する（2025年比－2%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 大分県の一人当たり医療費（国保）は382千円（偏差値65）、介護給付費は274千円（偏差値55）であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 大分県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.97で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が53（病院医師数54、診療所医師数51）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 大分県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、16919人（75歳以上1000人当たりの偏差値46）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が11266床（偏差値51）、高齢者住宅等が5653床（偏差値44）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、14569人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム44、軽費ホーム46、グループホーム48、サ高住48である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、3015人（75歳以上1000人当たりの偏差値55）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

大分県の総人口は、2005年1209571人が、2015年に1169457人と3%減少し、2025年の人口が1093634人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

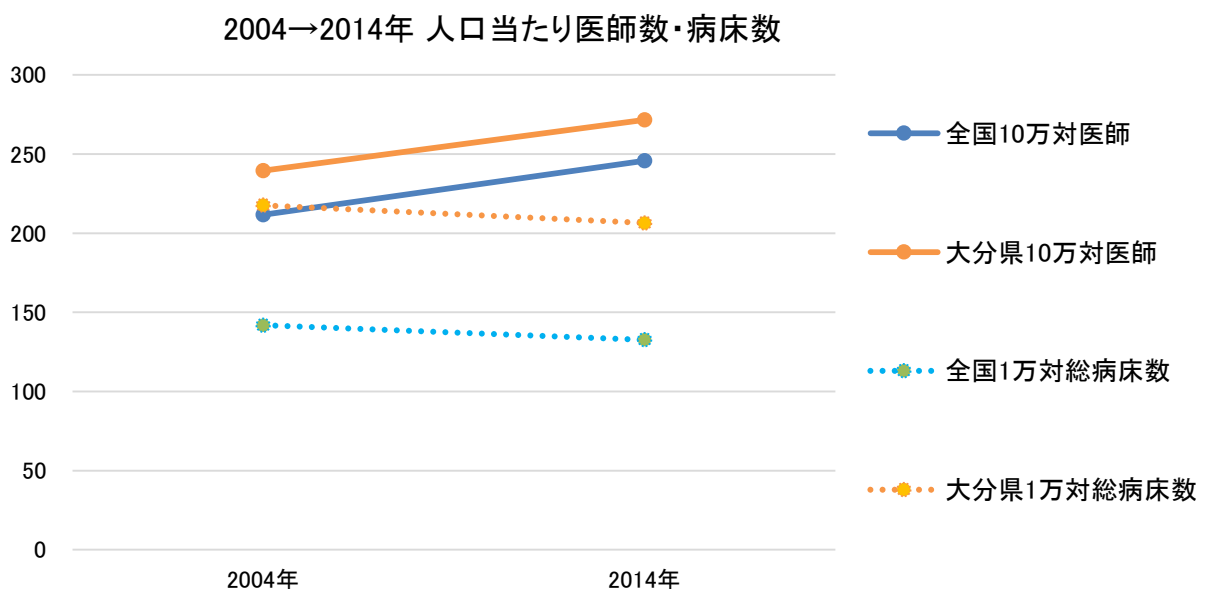
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が165(人口10万人当たり13.6病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に158(人口10万人当たり13.5病院(全国平均6.7)偏差値67)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が971(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に972(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が26328床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に24141床(人口1万人当たり206(全国平均133)偏差値63)と、2187床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

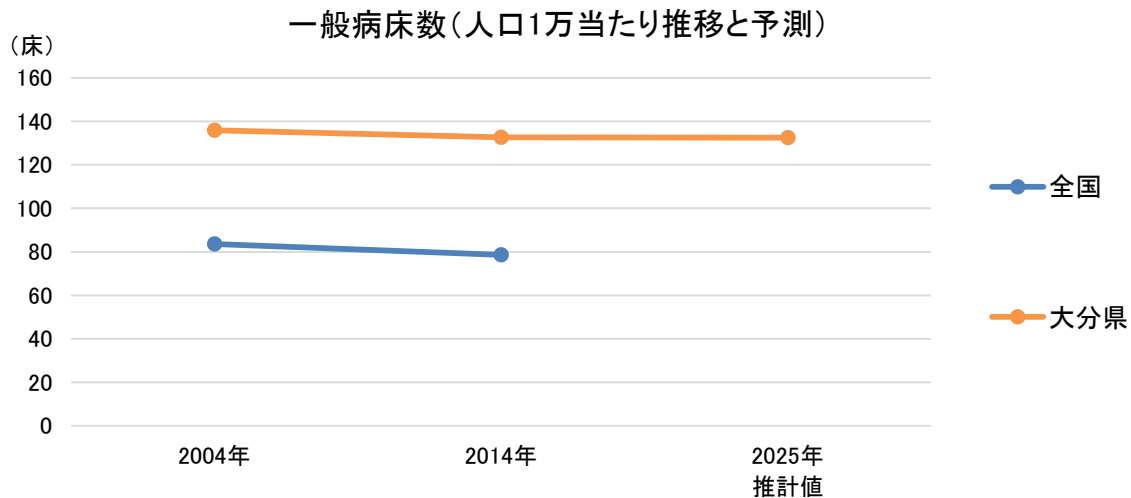
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2898人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に3177人(人口10万人当たり272人(全国平均246人)偏差値53)と、279人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



#### 44. 大分県（2016年版）

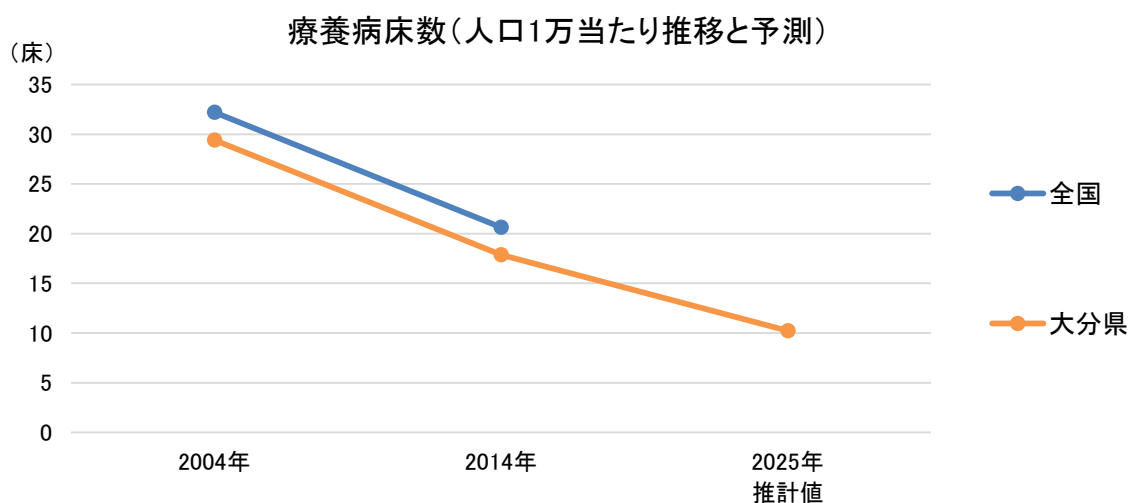
##### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が16436床(人口1万人当たり136(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に15511床(人口1万人当たり133(全国平均79)偏差値70)と、925床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14493床(2025年の推計人口1万人当たり133)になることが予想される。



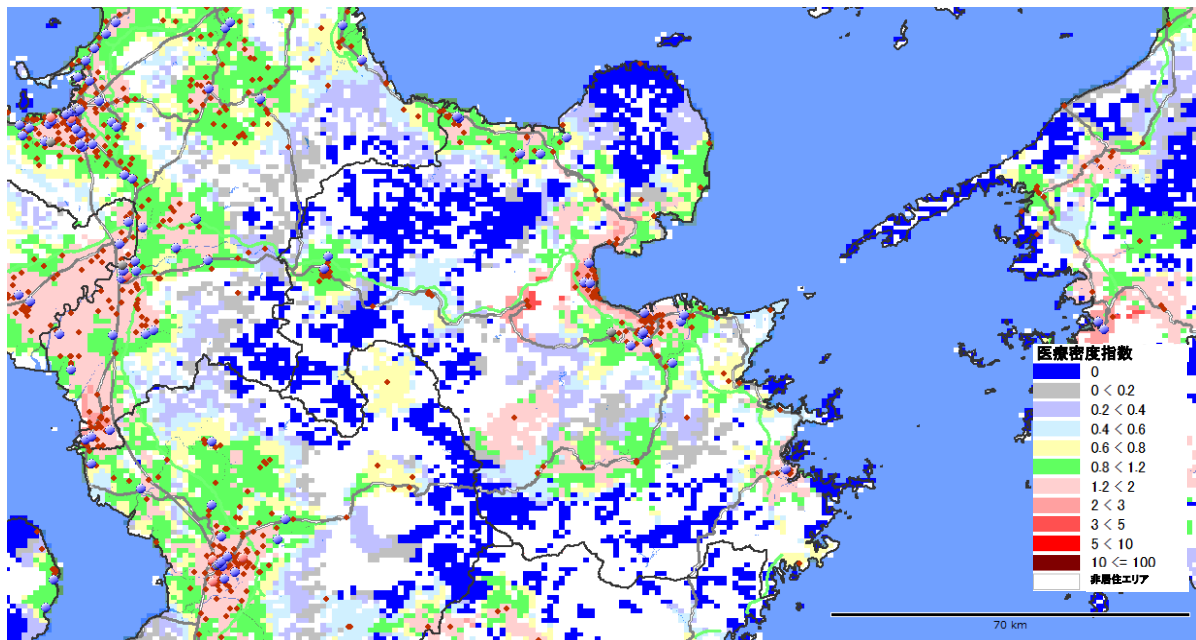
##### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4224床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に3293床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、931床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2269床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

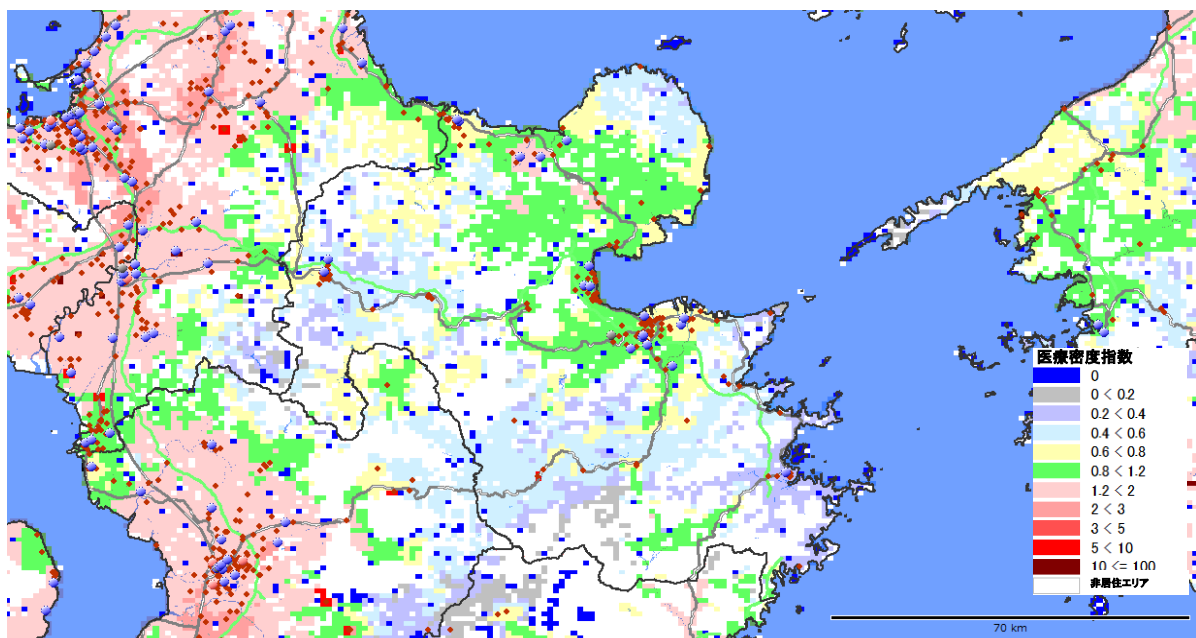


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表44-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-2 慢性期医療密度指数マップ



44. 大分県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 44-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
大分県	1,169	33位	6,340	22位	184.5		30%	1,094	955	184	222	217	-6%	-13%	21%	-2%
東部	212	18%	803	13%	264.5	地方都市型	33%	195	167	37	42	38	-8%	-14%	14%	-10%
中部	570	49%	1,191	19%	478.3	地方都市型	26%	553	504	72	99	106	-3%	-9%	38%	7%
南部	73	6%	904	14%	80.6	過疎地域型	37%	64	50	15	16	15	-12%	-22%	7%	-6%
豊肥	59	5%	1,081	17%	55.0	過疎地域型	43%	51	39	16	15	13	-14%	-24%	-6%	-13%
西部	93	8%	1,224	19%	76.0	過疎地域型	34%	82	66	17	19	18	-12%	-20%	12%	-5%
北部	162	14%	1,137	18%	142.5	過疎地域型	31%	150	129	27	30	28	-7%	-14%	11%	-7%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 44-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
大分県	1.24	0.97	-21.6%	-19.2%
東部	1.80	0.59	2.0%	12.3%
中部	1.28	1.12	-50.2%	-61.0%
南部	1.05	0.97	-16.2%	-4.7%
豊肥	0.87	1.13	5.1%	19.4%
西部	0.76	1.28	-19.4%	-12.5%
北部	0.86	1.27	-8.0%	-0.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			



資\_図表 44-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
大分県	382	65	1.113	274	55
東部	383	66	1.161	270	54
中部	388	67	1.162	267	54
南部	365	61	1.068	268	54
豊肥	418	74	1.163	332	71
西部	351	58	1.065	281	57
北部	381	65	1.106	268	54
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 44-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
大分県	158	1.9%	13.5	67	972	1.0%	83	52
東部	36	23%	16.9	75	189	19%	89	55
中部	62	39%	10.9	60	461	47%	81	51
南部	8	5%	11.0	60	59	6%	81	51
豊肥	7	4%	11.8	62	55	6%	92	57
西部	21	13%	22.6	89	77	8%	83	52
北部	24	15%	14.8	70	131	13%	81	51
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 44-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
大分県	972	1.0%	83	52	705	0.8%	60	43	267	3.2%	22.8	74
東部	189	19%	89	55	134	19%	63	45	55	21%	25.9	79
中部	461	47%	81	51	337	48%	59	43	124	46%	21.8	73
南部	59	6%	81	51	46	7%	63	45	13	5%	17.9	67
豊肥	55	6%	92	57	40	6%	67	47	15	6%	25.2	78
西部	77	8%	83	52	50	7%	54	40	27	10%	29.0	84
北部	131	13%	81	51	98	14%	60	44	33	12%	20.4	71
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

44. 大分県（2016年版）

資\_図表 44-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
大分県	20,042	1.3%	1,714	59	4,099	3.6%	351	75	24,141	1.4%	2,064	63
東部	4,704	23%	2,214	69	859	21%	404	80	5,563	23%	2,618	73
中部	9,065	45%	1,591	57	1,915	47%	336	73	10,980	45%	1,927	61
南部	1,250	6%	1,717	60	157	4%	216	62	1,407	6%	1,933	61
豊肥	873	4%	1,468	55	256	6%	430	82	1,129	5%	1,899	60
西部	1,614	8%	1,735	60	377	9%	405	80	1,991	8%	2,140	64
北部	2,536	13%	1,565	57	535	13%	330	73	3,071	13%	1,895	60
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 44-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
大分県	11,797	1.3%	1,009	63	2,908	0.9%	249	50	5,247	1.6%	449	58
東部	2,765	23%	1,301	76	1,031	35%	485	61	850	16%	400	56
中部	5,507	47%	967	61	692	24%	121	43	2,850	54%	500	61
南部	831	7%	1,141	69	235	8%	323	53	180	3%	247	49
豊肥	500	4%	841	56	157	5%	264	50	212	4%	357	54
西部	757	6%	814	55	286	10%	307	52	567	11%	609	66
北部	1,437	12%	887	58	507	17%	313	53	588	11%	363	54
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 44-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
大分県	1,085	1.5%	93	58	885	2.5%	76	59
東部	295	27%	139	68	226	26%	106	65
中部	505	47%	89	57	386	44%	68	57
南部	125	12%	172	75	45	5%	62	56
豊肥	25	2%	42	47	42	5%	71	58
西部	95	9%	102	60	80	9%	86	61
北部	40	4%	25	43	106	12%	65	56
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 44-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
大分県	5,257	4,675	430	14,706	7,096	2,425	39.7%	45	15.1%	53
東部	2,121	1,743	280	2,583	1,048	725	62.5%	54	27.9%	58
中部	2,183	2,030	111	6,856	3,439	593	37.1%	44	15.8%	53
南部	260	256	0	990	575	235	30.8%	41	0.0%	46
豊肥	199	156	39	674	344	118	31.2%	41	24.8%	57
西部	204	200	0	1,357	543	247	26.9%	40	0.0%	46
北部	290	290	0	2,246	1,147	507	20.2%	37	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 44-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
大分県	26,688	0.9%	2,282	51	9,444	0.9%	808	50
東部	5,544	21%	2,609	54	1,260	13%	593	43
中部	16,020	60%	2,812	56	4,956	52%	870	52
南部	636	2%	874	37	444	5%	610	43
豊肥	648	2%	1,090	39	444	5%	747	48
西部	1,632	6%	1,754	46	924	10%	993	57
北部	2,208	8%	1,363	42	1,416	15%	874	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 44-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
大分県	3,494	1.0%	299	53	2,232	1.1%	191	54	1,261	1.0%	108	51
東部	717	21%	337	57	486	22%	229	59	231	18%	109	52
中部	1,861	53%	327	56	1,222	55%	214	57	640	51%	112	53
南部	176	5%	242	47	108	5%	149	47	68	5%	93	47
豊肥	129	4%	217	44	69	3%	115	42	61	5%	102	50
西部	226	6%	242	47	136	6%	147	47	89	7%	96	48
北部	384	11%	237	47	211	9%	130	45	173	14%	107	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

44. 大分県（2016年版）

資\_図表 44-12 専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		12.4	(6.7)			9.9	(4.6)			8.2	(3.8)	
大分県	0.7%	8.8	45	1.0%	10.5	51		0.9%	7.8	49		
東部	25%	12.2	50	20%	11.8	54		18%	7.5	48		
中部	51%	9.3	45	57%	12.3	55		63%	10.0	55		
南部	3%	4.1	38	3%	5.5	40		4%	5.5	43		
豊肥	5%	8.4	44	2%	5.0	39		2%	3.4	37		
西部	5%	5.4	40	4%	5.4	40		7%	6.4	45		
北部	11%	6.8	42	13%	9.9	50		7%	3.7	38		
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 44-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		4.2	(2.1)			7.4	(3.2)			5.9	(2.6)	
大分県	0.8%	3.5	47	0.9%	6.8	48		0.7%	4.7	45		
東部	15%	2.8	44	21%	8.0	52		16%	4.2	44		
中部	59%	4.2	50	58%	8.1	52		67%	6.5	52		
南部	2%	1.4	37	8%	8.2	53		4%	2.7	38		
豊肥	5%	3.4	46	4%	5.0	43		2%	1.7	34		
西部	2%	1.1	36	4%	3.2	37		4%	2.1	36		
北部	17%	4.3	51	6%	3.1	37		7%	2.5	37		
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 44-14 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		6.5	(3.5)			16.1	(7.2)			12.1	(4.5)	
大分県	1.1%	7.5	53	1.1%	20.0	55		1.1%	15.0	56		
東部	17%	7.1	51	24%	26.8	65		21%	17.4	62		
中部	60%	9.3	58	49%	20.0	55		55%	16.9	60		
南部	3%	4.1	43	6%	17.9	52		6%	13.7	54		
豊肥	3%	5.0	46	4%	16.8	51		4%	11.8	49		
西部	8%	7.5	53	6%	16.1	50		5%	9.7	45		
北部	8%	4.3	44	11%	15.4	49		10%	10.5	46		
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 44-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科専門医数				脳神経外科専門医数				放射線科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		4.5	(2.1)			5.0	(2.4)			4.2	(3.0)	
大分県	1.1%	5.1	53		1.1%	6.1	54		1.2%	5.2	53	
東部	13%	3.8	46		18%	6.1	55		33%	9.4	68	
中部	62%	6.5	60		55%	6.8	58		49%	5.3	54	
南部	5%	4.1	48		11%	11.0	75		7%	5.5	54	
豊肥	2%	1.7	36		1%	1.7	36		2%	1.7	42	
西部	5%	3.2	44		7%	5.4	51		2%	1.1	40	
北部	13%	4.9	52		7%	3.1	42		8%	3.1	46	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 44-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科専門医数				病理専門医数				救急科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		5.2	(3.1)			1.2	(0.9)			2.6	(1.7)	
大分県	1.1%	6.4	54		1.0%	1.3	51		0.7%	2.0	46	
東部	21%	7.5	58		27%	1.9	57		30%	3.3	54	
中部	64%	8.4	60		53%	1.4	52		65%	2.6	50	
南部	4%	4.1	47		7%	1.4	52		0%	0	35	
豊肥	1%	1.7	39		0%	0	37		0%	0	35	
西部	5%	4.3	47		0%	0	37		0%	0	35	
北部	4%	1.9	39		13%	1.2	50		4%	0.6	39	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 44-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科専門医数				リハビリテーション科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		1.6	(1.2)			1.9	(1.3)	
大分県	1.0%	1.6	50		0.8%	1.7	49	
東部	21%	1.9	53		25%	2.4	54	
中部	68%	2.3	56		65%	2.3	53	
南部	0%	0	37		0%	0	36	
豊肥	5%	1.7	51		0%	0	36	
西部	5%	1.1	46		0%	0	36	
北部	0%	0	37		10%	1.2	45	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

44. 大分県（2016年版）

資\_図表 44-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
大分県	14,838	1.3%	1,269	64	11,934	1.3%	1,020	63	2,904	1.5%	248	63
東部	3,409	23%	1,605	75	2,765	23%	1,301	74	644	22%	303	70
中部	6,999	47%	1,229	62	5,574	47%	978	61	1,426	49%	250	63
南部	926	6%	1,272	64	804	7%	1,104	66	122	4%	168	52
豊肥	668	5%	1,123	59	488	4%	821	54	180	6%	302	70
西部	1,017	7%	1,093	58	853	7%	916	58	164	6%	177	53
北部	1,819	12%	1,123	59	1,451	12%	896	58	368	13%	227	60
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 44-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
大分県	1,864	1.6%	159	63	2,187	0.8%	187	46
東部	461	25%	217	74	389	18%	183	45
中部	819	44%	144	60	1,170	53%	205	48
南部	131	7%	180	67	134	6%	184	46
豊肥	113	6%	190	69	93	4%	156	43
西部	145	8%	156	62	138	6%	148	42
北部	195	10%	120	55	263	12%	162	43
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 44-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
大分県	202	1.4%	1.1	54	22	2.0%	0.1	58	121	1.3%	0.7	54
東部	41	20%	1.1	55	5	23%	0.1	60	29	24%	0.8	61
中部	120	59%	1.7	67	9	41%	0.1	59	52	43%	0.7	57
南部	6	3%	0.4	39	1	5%	0.1	50	7	6%	0.5	44
豊肥	13	6%	0.8	49	3	14%	0.2	69	6	5%	0.4	39
西部	6	3%	0.3	38	2	9%	0.1	57	7	6%	0.4	40
北部	16	8%	0.6	43	2	9%	0.1	51	20	17%	0.7	58
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 44-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	16,919	1.0%	92	46	11,266	1.1%	61	51	5,653	0.9%	31	44
東部	4,014	24%	109	56	2,479	22%	67	56	1,535	27%	42	51
中部	6,289	37%	87	43	4,055	36%	56	47	2,234	40%	31	44
南部	1,314	8%	90	44	824	7%	56	47	490	9%	33	46
豊肥	1,318	8%	85	41	1,058	9%	68	57	260	5%	17	35
西部	1,375	8%	79	38	1,062	9%	61	51	313	6%	18	36
北部	2,609	15%	95	48	1,788	16%	65	54	821	15%	30	44
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 44-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	4,672	1.3%	25	56	5,931	1.1%	32	48	663	1.0%	3.6	49
東部	923	20%	25	55	1,249	21%	34	50	307	46%	8.3	60
中部	1,771	38%	24	54	2,206	37%	30	47	78	12%	1.1	43
南部	358	8%	24	54	466	8%	32	48	0	0%	0	40
豊肥	502	11%	32	68	499	8%	32	48	57	9%	3.7	49
西部	409	9%	23	53	596	10%	34	51	57	9%	3.3	48
北部	709	15%	26	57	915	15%	33	50	164	25%	6.0	55
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	1,453	0.7%	7.9	44	120	0.5%	0.7	46	1,894	1.0%	10.3	48
東部	488	34%	13.2	50	100	83%	2.7	56	333	18%	9.0	45
中部	500	34%	6.9	44	20	17%	0.3	45	772	41%	10.7	48
南部	123	8%	8.4	45	0	0%	0	43	180	10%	12.3	51
豊肥	48	3%	3.1	40	0	0%	0	43	203	11%	13.1	53
西部	100	7%	5.7	42	0	0%	0	43	117	6%	6.7	41
北部	194	13%	7.1	44	0	0%	0	43	289	15%	10.6	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

44. 大分県（2016年版）

資\_図表 44-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
大分県	2,186	1.0%	11.9	48	111	0.9%	0.6	49	2,075	1.0%	11.3	49
東部	614	28%	16.7	56	86	77%	2.3	60	528	25%	14.3	54
中部	942	43%	13.0	50	25	23%	0.3	47	917	44%	12.7	51
南部	187	9%	12.7	50	0	0%	0	45	187	9%	12.7	51
豊肥	9	0%	0.6	32	0	0%	0	45	9	0%	0.6	32
西部	96	4%	5.5	39	0	0%	0	45	96	5%	5.5	39
北部	338	15%	12.4	49	0	0%	0	45	338	16%	12.4	50
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 44-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
大分県	2,042	1.3%	11.1	56	1,557	1.3%	8.4	56	485	1.1%	2.6	51
東部	503	25%	13.7	67	385	25%	10.4	65	119	24%	3.2	58
中部	762	37%	10.5	53	522	34%	7.2	50	240	50%	3.3	59
南部	117	6%	8.0	43	94	6%	6.4	46	23	5%	1.6	38
豊肥	180	9%	11.6	58	157	10%	10.1	64	23	5%	1.5	37
西部	138	7%	7.9	42	117	7%	6.7	48	22	4%	1.2	34
北部	341	17%	12.5	61	282	18%	10.3	64	59	12%	2.1	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
大分県	17,584	1.2%	95	54	14,569	1.2%	79	52	3,015	1.3%	16.4	55
東部	3,352	19%	91	51	2,881	20%	78	51	471	16%	12.8	49
中部	7,452	42%	103	60	6,022	41%	83	56	1,430	47%	19.7	61
南部	1,340	8%	91	51	1,069	7%	73	47	271	9%	18.5	59
豊肥	1,496	9%	96	55	1,275	9%	82	55	221	7%	14.3	51
西部	1,523	9%	87	48	1,316	9%	75	49	207	7%	11.9	47
北部	2,421	14%	89	49	2,007	14%	73	47	414	14%	15.1	53
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 44-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
大分県	11,063	1.0%	60	48	3,441	0.8%	19	44	17,389	1.2%	94	51
東部	2,273	21%	62	49	743	22%	20	45	2,983	17%	81	47
中部	5,674	51%	78	54	1,604	47%	22	47	7,920	46%	109	56
南部	613	6%	42	42	344	10%	23	49	1,667	10%	114	57
豊肥	695	6%	45	43	241	7%	16	41	1,212	7%	78	46
西部	383	3%	22	36	147	4%	8	34	1,185	7%	68	43
北部	1,425	13%	52	46	362	11%	13	39	2,422	14%	89	49
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
大分県		1,209,571	1,169,457	-3%	1,093,634	-10%	8%	2%	10%
東部	地方都市型	224,841	212,477	-5%	194,977	-13%	5%	-2%	3%
中部	地方都市型	562,511	569,663	1%	552,631	-2%	15%	8%	24%
南部	過疎地域型	80,297	72,802	-9%	63,713	-21%	7%	-3%	4%
豊肥	過疎地域型	68,082	59,467	-13%	50,512	-26%	0%	-9%	-9%
西部	過疎地域型	103,549	93,032	-10%	82,278	-21%	-2%	-3%	-6%
北部	過疎地域型	170,291	162,016	-5%	149,523	-12%	3%	-2%	1%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 44-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
大分県	165	13.6	67	158	13.5	67	-7	-4%	151
東部	37	16.5	74	36	16.9	75	-1	-3%	35
中部	65	11.6	62	62	10.9	60	-3	-5%	59
南部	9	11.2	61	8	11.0	60	-1	-11%	7
豊肥	9	13.2	66	7	11.8	62	-2	-22%	5
西部	21	20.3	84	21	22.6	89	0	0%	21
北部	24	14.1	68	24	14.8	70	0	0%	24
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

44. 大分県（2016年版）

資\_図表 44-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
大分県	971	80	52	972	83	52	1	0%	974
東部	199	89	56	189	89	55	-10	-5%	178
中部	430	76	50	461	81	51	31	7%	495
南部	63	78	51	59	81	51	-4	-6%	55
豊肥	58	85	55	55	92	57	-3	-5%	52
西部	79	76	50	77	83	52	-2	-3%	75
北部	142	83	54	131	81	51	-11	-8%	119
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 44-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
大分県	2,898	240	53	3,177	272	53	279	10%	3,485
東部	618	275	58	649	305	56	31	5%	683
中部	1,523	271	57	1,784	313	57	261	17%	2,071
南部	150	187	47	147	202	46	-3	-2%	144
豊肥	128	188	47	105	177	43	-23	-18%	80
西部	151	146	42	157	169	42	6	4%	164
北部	328	193	48	335	207	46	7	2%	343
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 44-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
大分県	26,328	218	64	24,141	206	63	-2,187	-8%	21,735
東部	6,512	290	76	5,563	262	73	-949	-15%	4,519
中部	11,646	207	62	10,980	193	61	-666	-6%	10,247
南部	1,518	189	58	1,407	193	61	-111	-7%	1,285
豊肥	1,233	181	57	1,129	190	60	-104	-8%	1,015
西部	2,069	200	60	1,991	214	64	-78	-4%	1,905
北部	3,350	197	60	3,071	190	60	-279	-8%	2,764
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 44-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
大分県	16,436	136	68	15,511	133	70	-925	-6%	14,493	133
東部	3,878	172	81	3,514	165	82	-364	-9%	3,114	160
中部	7,417	132	67	7,287	128	68	-130	-2%	7,144	129
南部	1,029	128	66	988	136	71	-41	-4%	943	148
豊肥	787	116	61	731	123	66	-56	-7%	669	132
西部	1,235	119	63	1,108	119	65	-127	-10%	968	118
北部	2,090	123	64	1,883	116	64	-207	-10%	1,655	111
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 44-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
大分県	4,224	29	48	3,293	18	48	-931	-22%	2,269	10
東部	1,421	47	59	1,141	31	59	-280	-20%	833	20
中部	1,368	27	47	827	11	42	-541	-40%	232	2
南部	261	23	45	235	16	46	-26	-10%	206	12
豊肥	230	17	42	182	12	42	-48	-21%	129	8
西部	263	18	42	312	18	48	49	19%	366	20
北部	681	29	48	596	22	51	-85	-12%	503	17
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

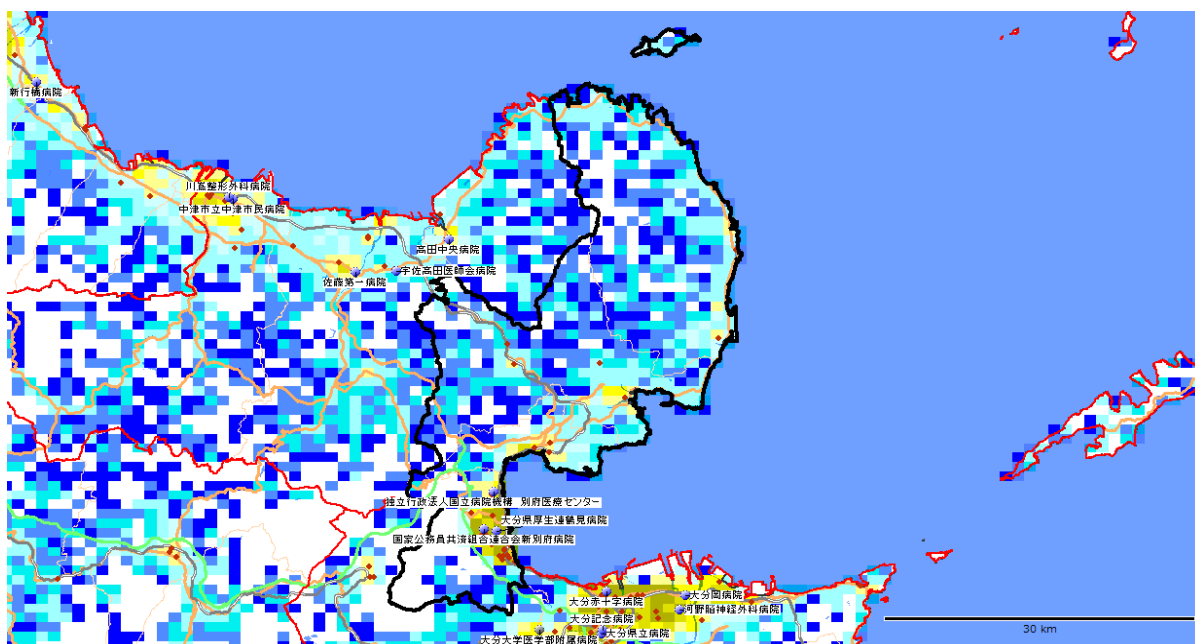
資\_図表 44-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
大分県	396	66	1.153	180	69	1.367	194	60	1.042
東部	388	64	1.152	184	70	1.416	184	54	1.005
中部	402	68	1.172	178	68	1.348	202	64	1.086
南部	380	62	1.082	173	66	1.273	185	55	0.973
豊肥	430	74	1.173	199	75	1.405	210	69	1.061
西部	372	61	1.096	173	66	1.320	180	51	0.978
北部	399	67	1.127	184	70	1.346	193	59	1.008
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 44-1. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [別府市](#)                      [杵築市](#)                      [国東市](#)                      [姫島村](#)  
[日出町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(別府市)は、総人口約212千人(2015年推計)、面積803km<sup>2</sup>、人口密度は265人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に195千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に167千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて42千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には38千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は383千円(偏差値66)、介護給付費は270千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.8、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.59で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が57(病院医師数59、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は75と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は76で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。東部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構別府医療センター(Ⅲ群)、500例以上の厚生連鶴見病院(Ⅲ群)、新別府病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値74と非常に多く、回復期病床数は偏差値68と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4014人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2479床(偏差値56)、高齢者住宅等が1535床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2881人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム50、軽費ホーム56、グループホーム45、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、471人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年224841人が、2015年に212477人と5%減少し、2025年の人口が194977人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

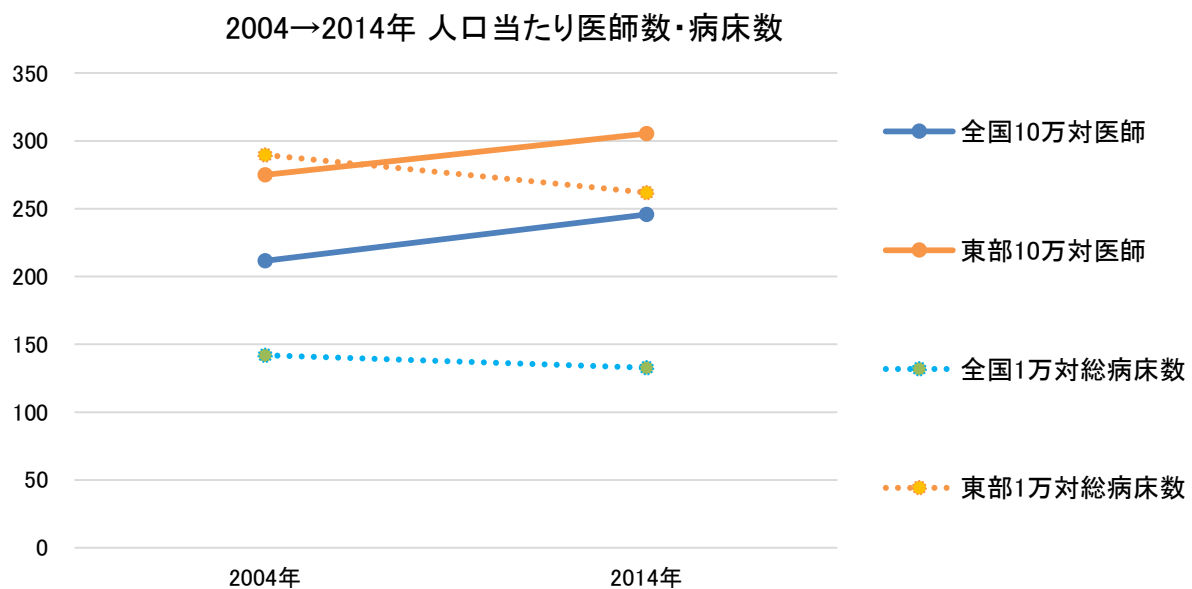
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が37(人口10万人当たり16.5病院(全国平均7.1)偏差値74)であったが、2014年に36(人口10万人当たり16.9病院(全国平均6.7)偏差値75)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が199(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に189(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、10診療所が減少した。

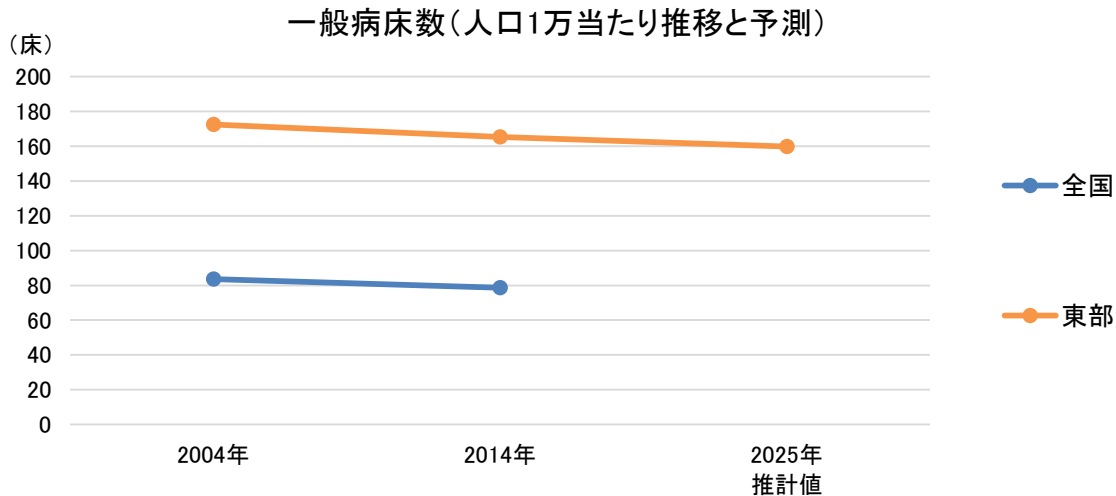
2004年の総病床数が6512床(人口1万人当たり290(全国平均142)偏差値76)であったが、2014年に5563床(人口1万人当たり262(全国平均133)偏差値73)と、949床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が618人(人口10万人当たり275人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に649人(人口10万人当たり305人(全国平均246人)偏差値56)と、31人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



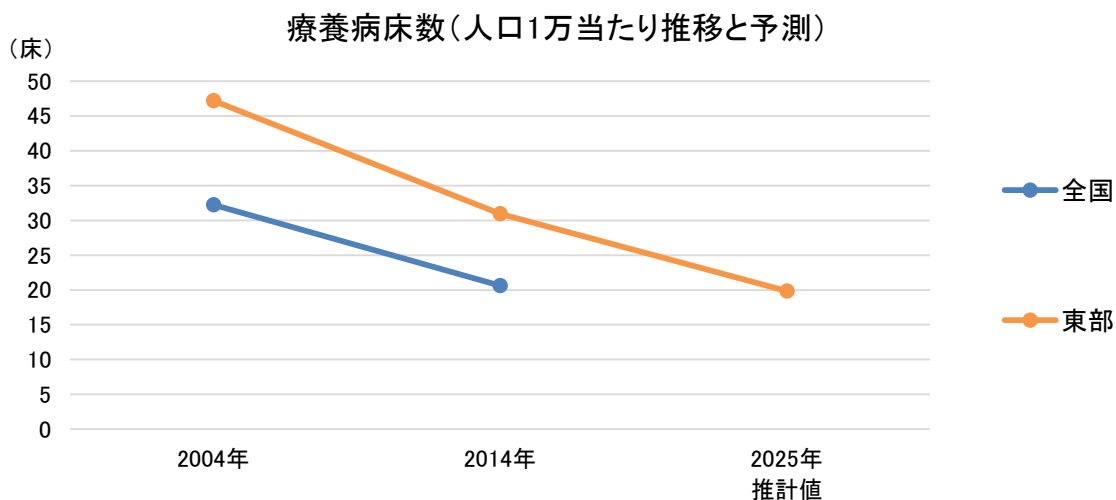
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3878床(人口1万人当たり172(全国平均84)偏差値81)であったが、2014年に3514床(人口1万人当たり165(全国平均79)偏差値82)と、364床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3114床(2025年の推計人口1万人当たり160)になることが予想される。



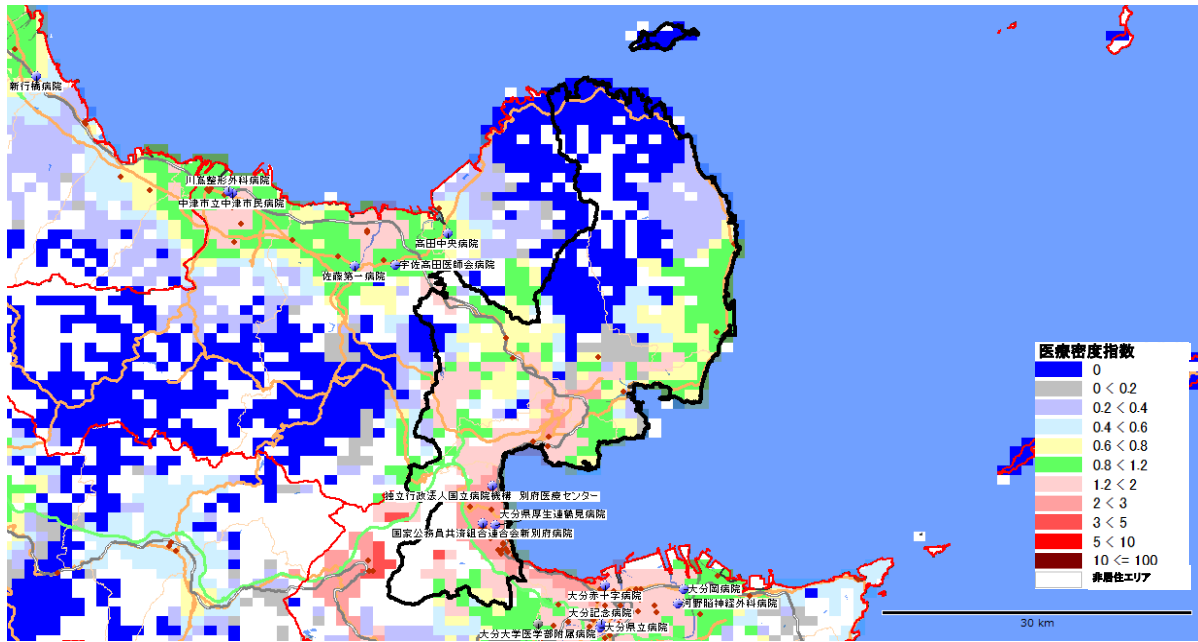
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1421床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に1141床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値59)と、280床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には833床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

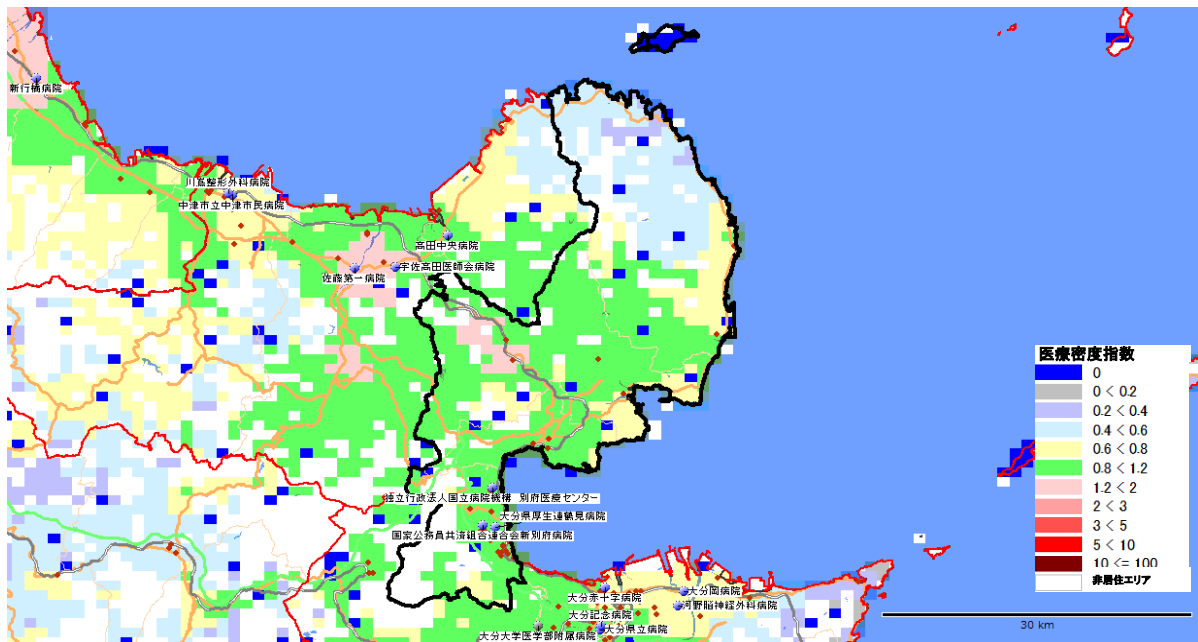


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表44-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-1-2 慢性期医療密度指数マップ

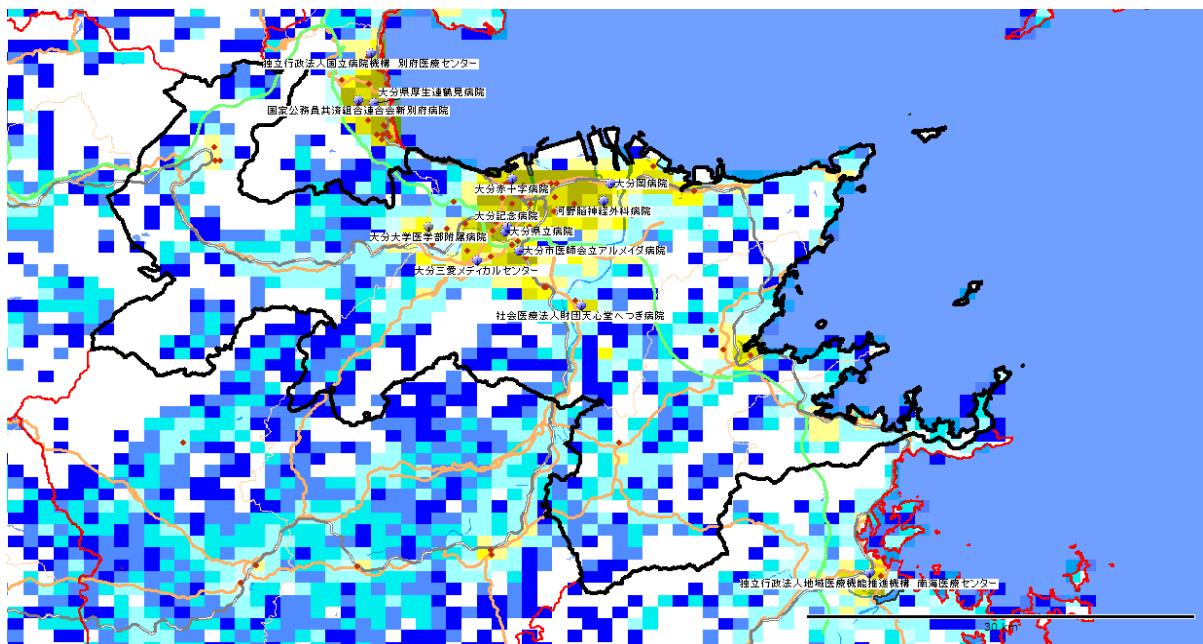




# 44-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [大分市](#) [臼杵市](#) [津久見市](#) [由布市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （中部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 中部(大分市)は、総人口約570千人(2015年推計)、面積1191km<sup>2</sup>、人口密度は478人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 中部の総人口は2025年に553千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に504千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の72千人が、2025年にかけて99千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には106千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 中部の一人当たり医療費(国保)は388千円(偏差値67)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 中部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.28、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.12で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数57、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大分県立病院(Ⅲ群・救命)、大分大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の大分赤十字病院(Ⅲ群)、アルメイダ病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の国立病院機構大分医療センター(Ⅲ群)、大分岡病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6289人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4055床(偏差値47)、高齢者住宅等が2234床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6022人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム44、軽費ホーム45、グループホーム48、サ高住50である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値67と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、1430人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-61%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年562511人が、2015年に569663人と1%増加し、2025年の人口が552631人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

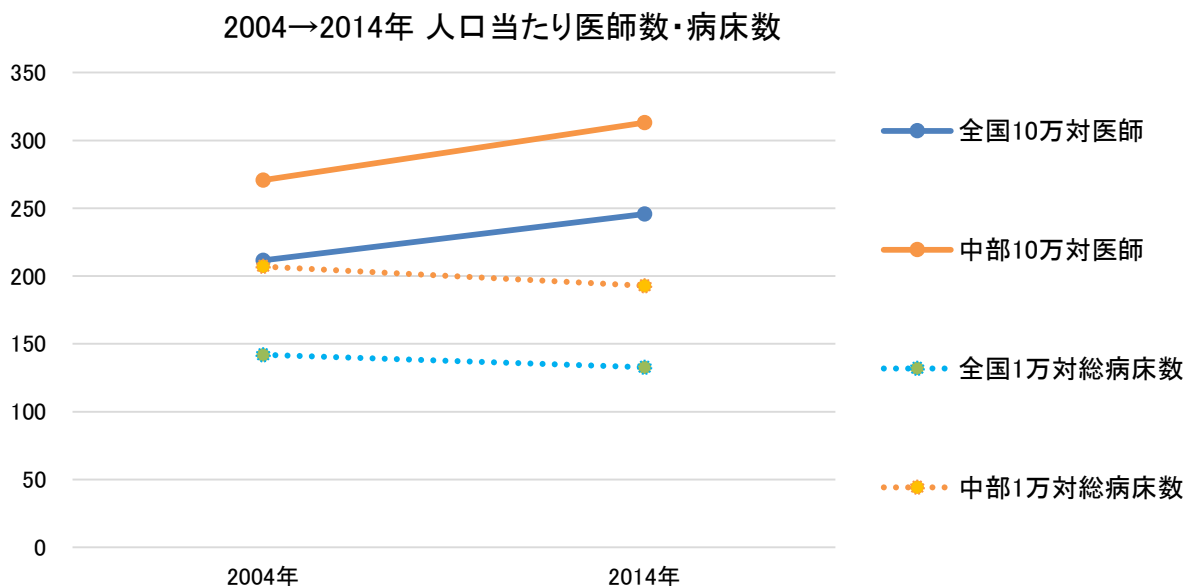
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が65(人口10万人当たり11.6病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に62(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が430(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に461(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、31診療所が増加した。

2004年の総病床数が11646床(人口1万人当たり207(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に10980床(人口1万人当たり193(全国平均133)偏差値61)と、666床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

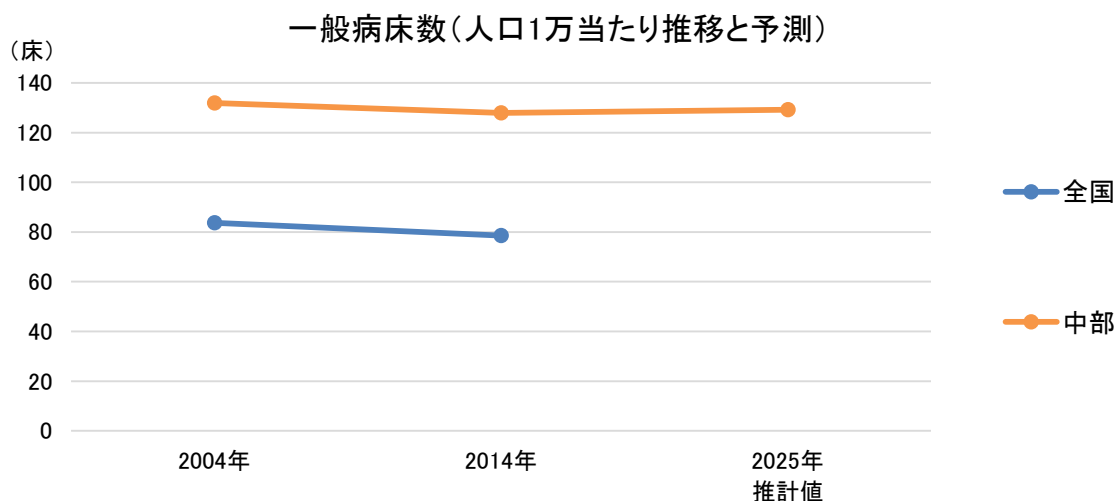
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1523人(人口10万人当たり271人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に1784人(人口10万人当たり313人(全国平均246人)偏差値57)と、261人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



#### 44. 大分県（2016年版）

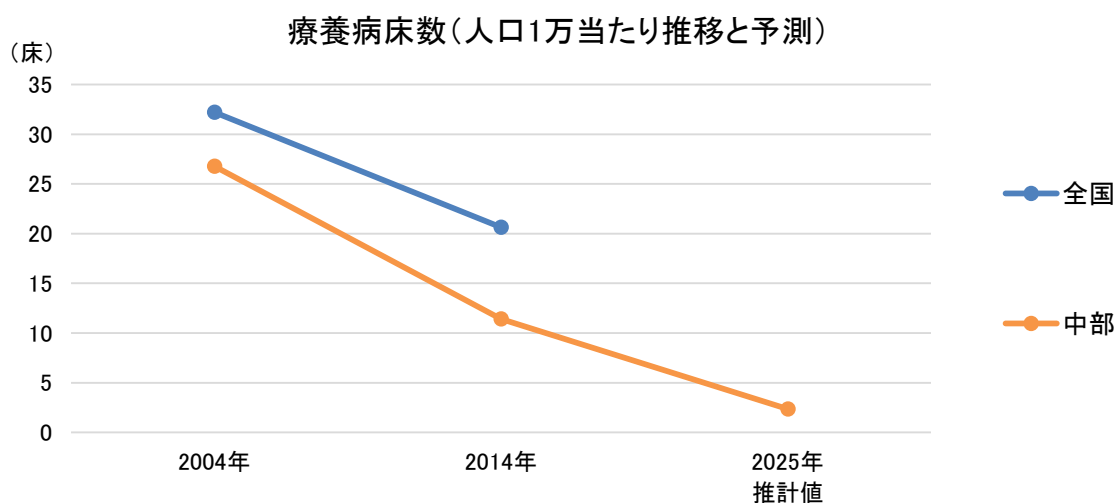
##### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7417床(人口1万人当たり132(全国平均84)偏差値67)であったが、2014年に7287床(人口1万人当たり128(全国平均79)偏差値68)と、130床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7144床(2025年の推計人口1万人当たり129)になることが予想される。



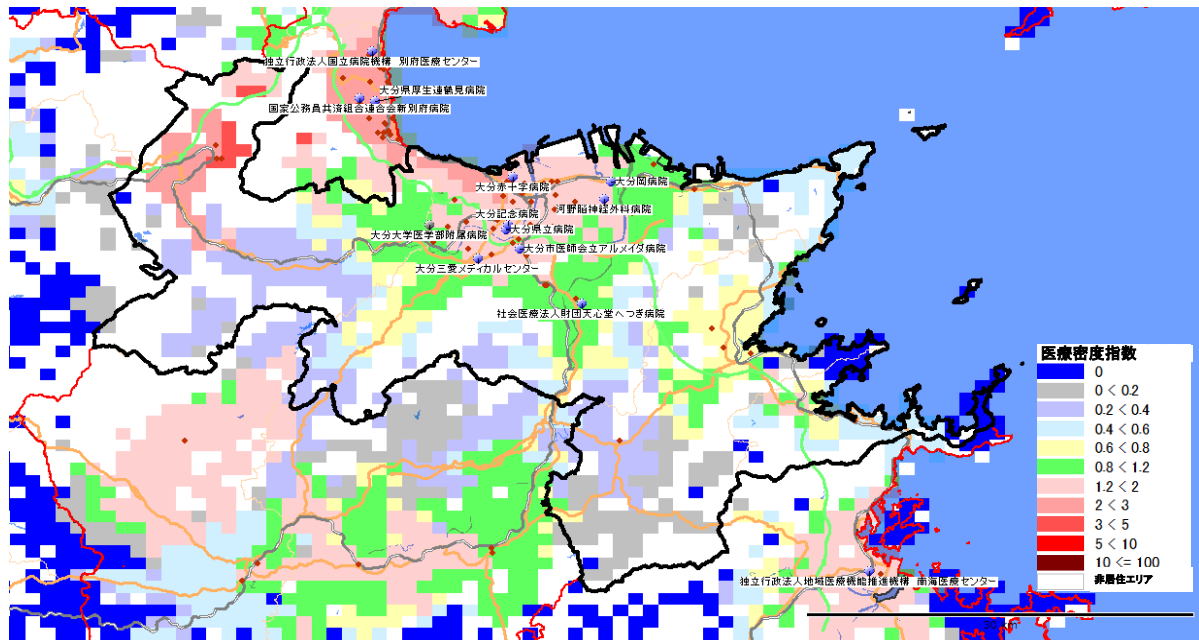
##### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1368床(75歳以上1000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に827床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値42)と、541床の減少、率にして40%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には232床(2025年の推計75歳以上1000人当たり2)になることが予想される。

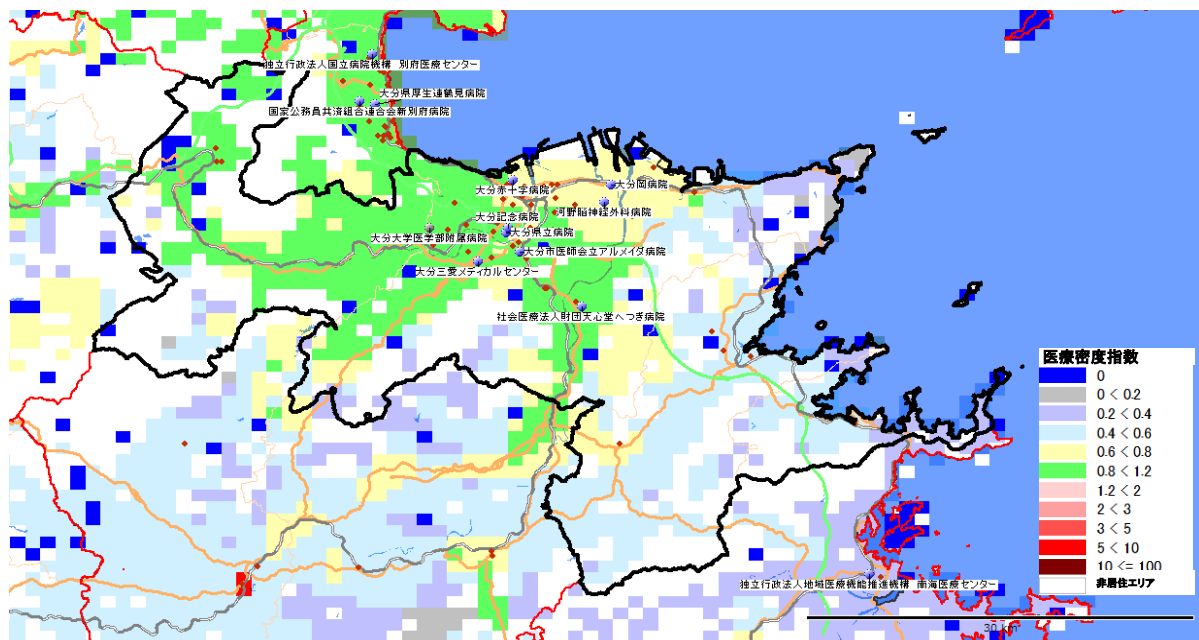


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表44-2-1 急性期医療密度指数マップ



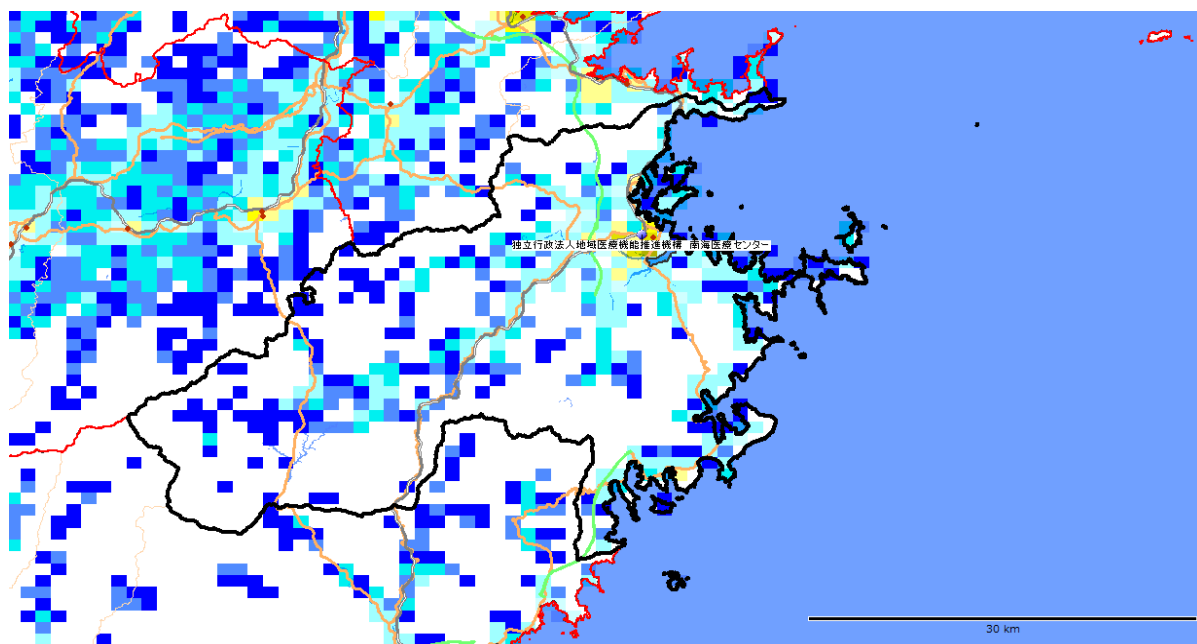
図表44-2-2 慢性期医療密度指数マップ



# 44-3. なんぶ南部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [佐伯市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南部(佐伯市)は、総人口約73千人(2015年推計)、面積904km<sup>2</sup>、人口密度は81人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に64千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に50千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+7%)、2040年には15千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は365千円(偏差値61)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.97で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は69で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値67と非常に多く、回復期病床数は偏差値75と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1314人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が824床(偏差値47)、高齢者住宅等が490床(偏差値46)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1069人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、271人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-5%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年80297人が、2015年に72802人と9%減少し、2025年の人口が63713人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

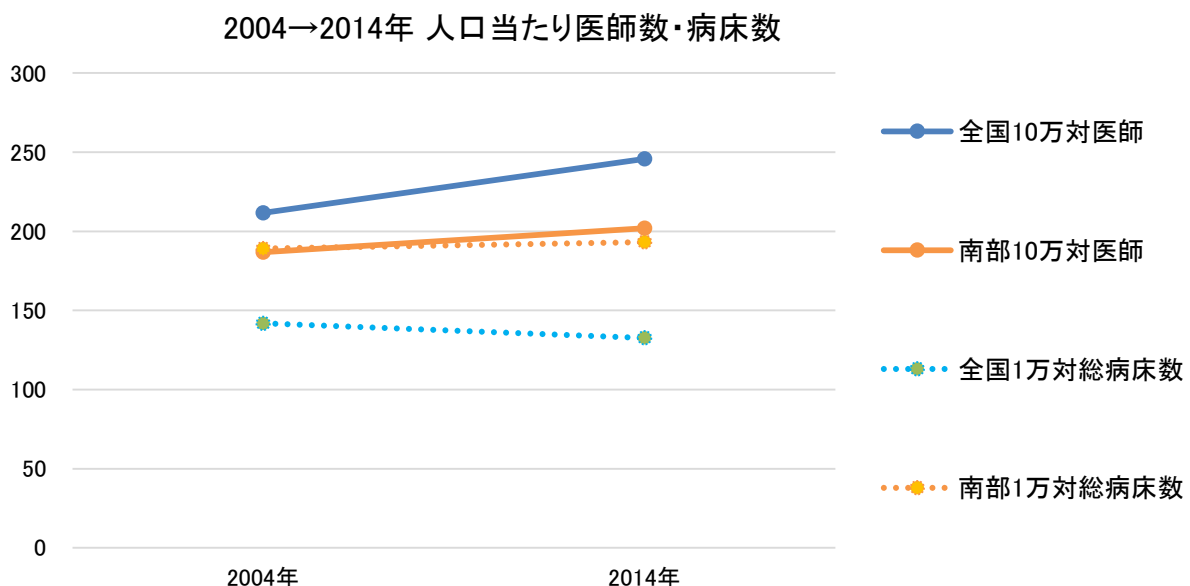
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に8(人口10万人当たり11病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が63(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に59(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が1518床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に1407床(人口1万人当たり193(全国平均133)偏差値61)と、111床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

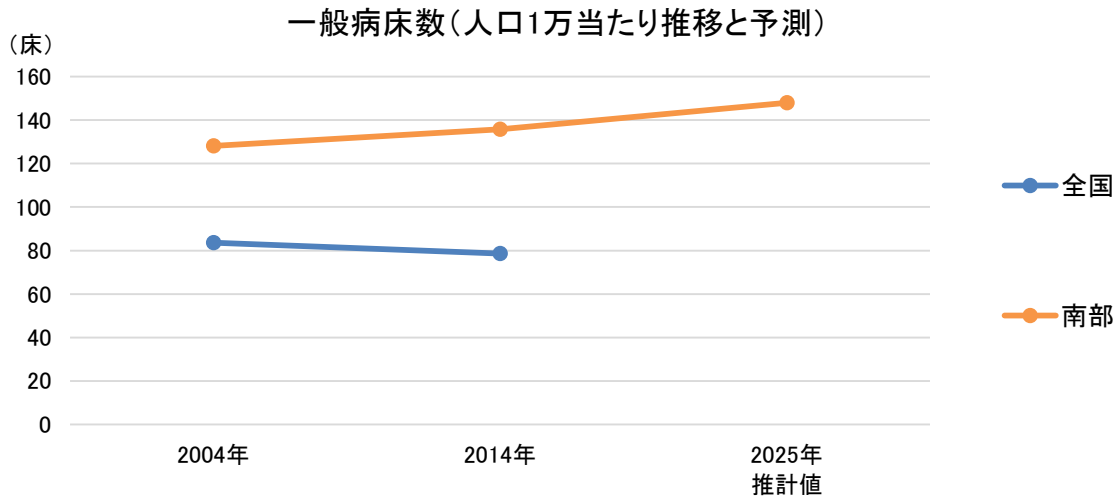
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が150人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に147人(人口10万人当たり202人(全国平均246人)偏差値46)と、3人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。





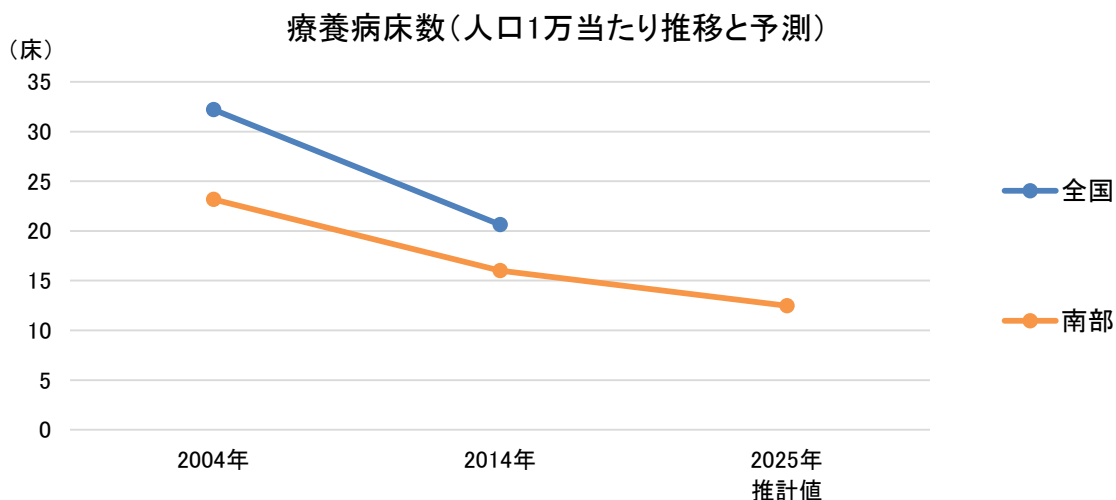
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1029床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に988床(人口1万人当たり136(全国平均79)偏差値71)と、41床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には943床(2025年の推計人口1万人当たり148)になることが予想される。



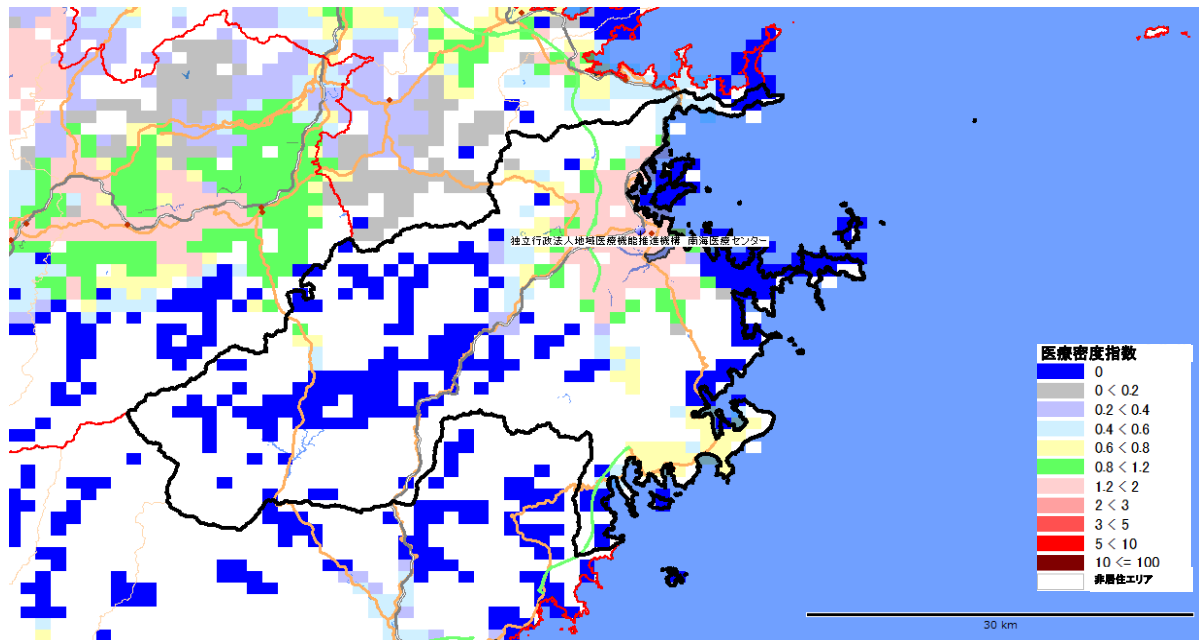
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が261床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に235床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、26床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には206床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

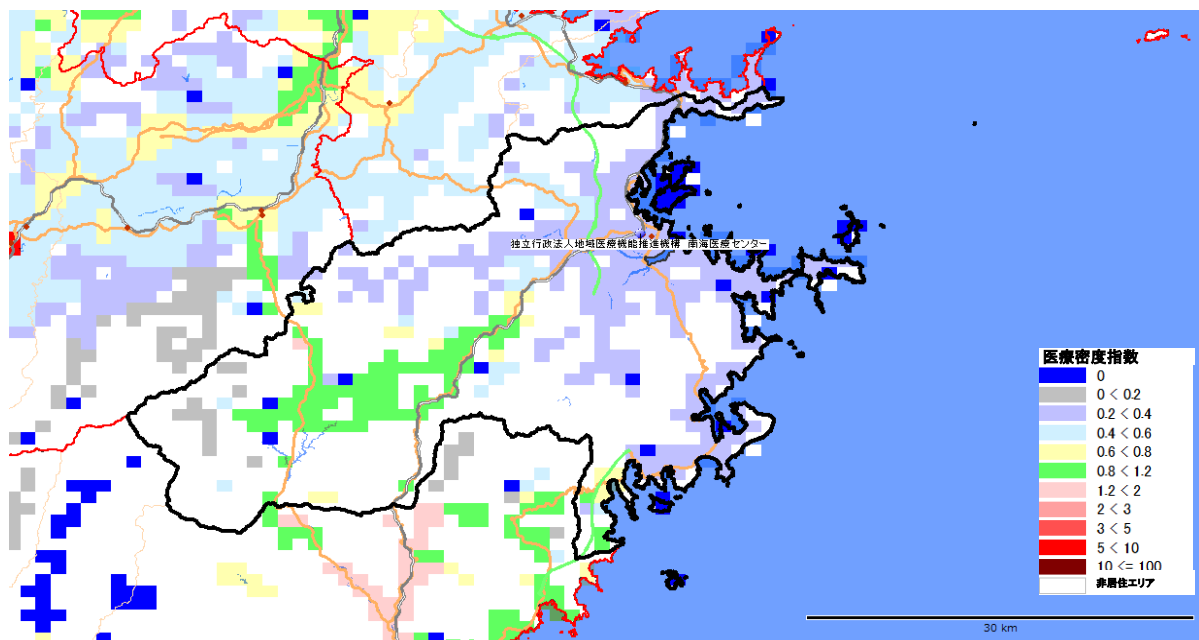


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表44-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-3-2 慢性期医療密度指数マップ

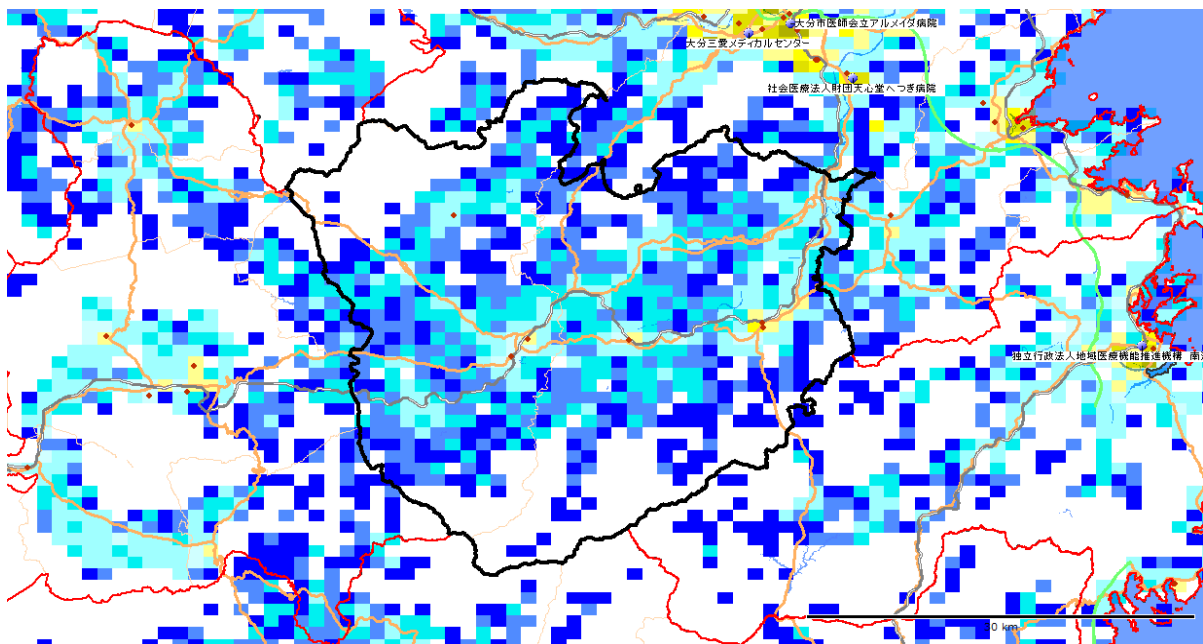


# 44-4. ほうひ 豊肥医療圏

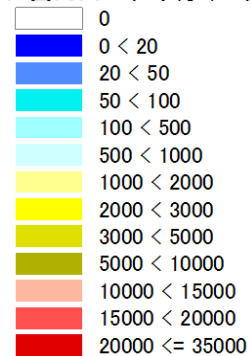
構成市区町村<sup>10</sup> [竹田市](#)

[豊後大野市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （豊肥医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 豊肥(竹田市)は、総人口約59千人(2015年推計)、面積1081km<sup>2</sup>、人口密度は55人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 豊肥の総人口は2025年に51千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて15千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 豊肥の一人当たり医療費(国保)は418千円(偏差値74)、介護給付費は332千円(偏差値71)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 豊肥の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.13で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は59と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。豊肥には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 豊肥の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1318人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1058床(偏差値57)、高齢者住宅等が260床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1275人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住32である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値69と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、221人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

豊肥医療圏の総人口は、2005年68082人が、2015年に59467人と13%減少し、2025年の人口が50512人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

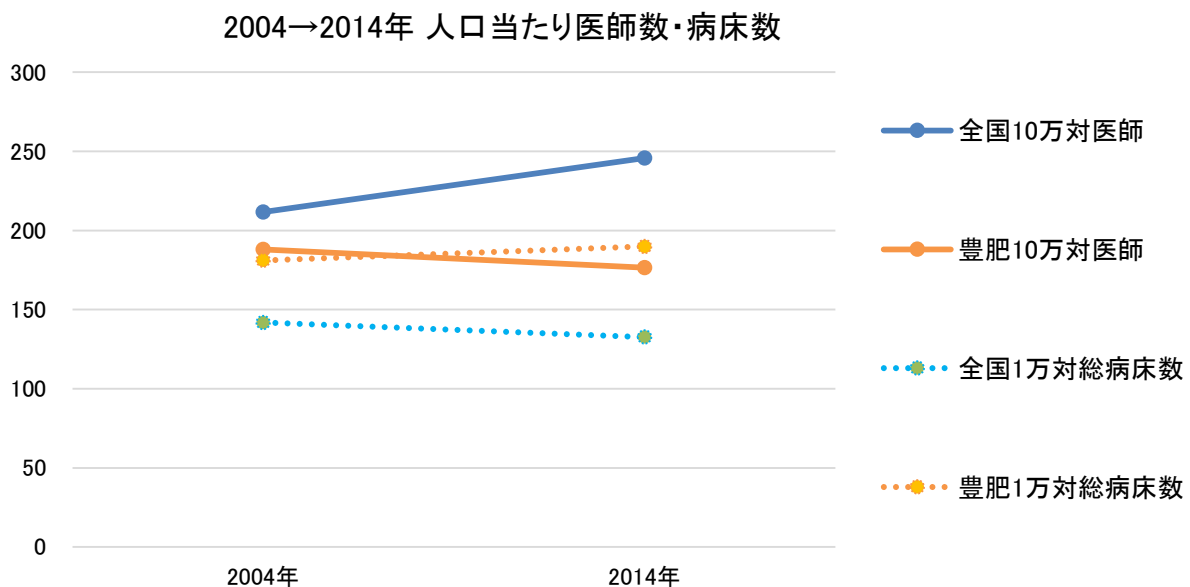
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり13.2病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2014年に7(人口10万人当たり11.8病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に55(人口10万人当たり92診療所(全国平均79)偏差値57)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1233床(人口1万人当たり181(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1129床(人口1万人当たり190(全国平均133)偏差値60)と、104床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

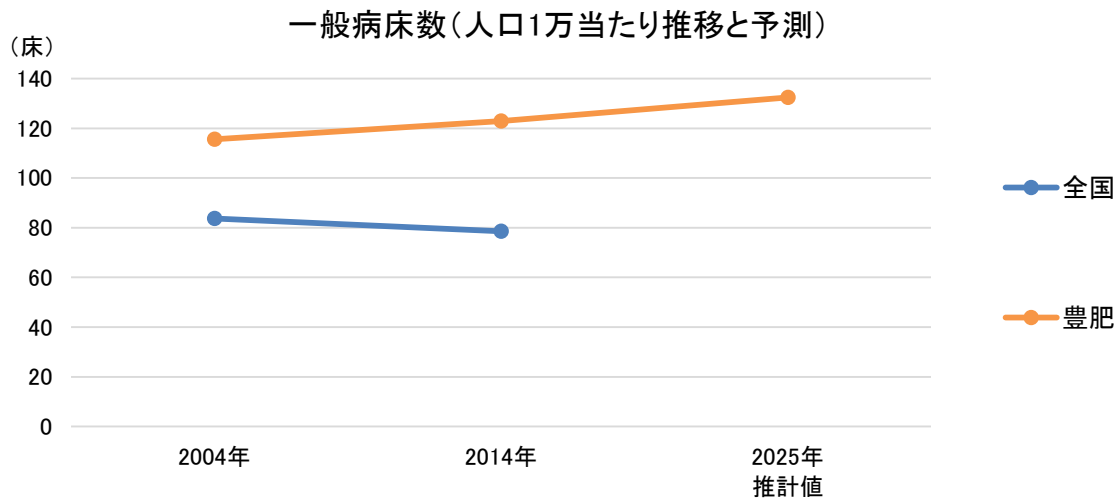
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が128人(人口10万人当たり188人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に105人(人口10万人当たり177人(全国平均246人)偏差値43)と、23人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



#### 44. 大分県（2016年版）

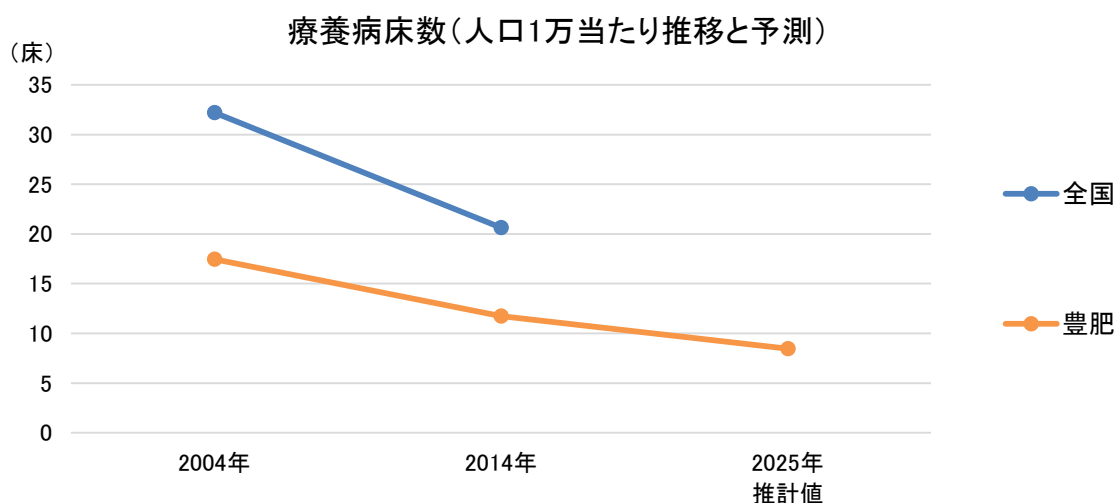
##### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が787床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に731床(人口1万人当たり123(全国平均79)偏差値66)と、56床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には669床(2025年の推計人口1万人当たり132)になることが予想される。



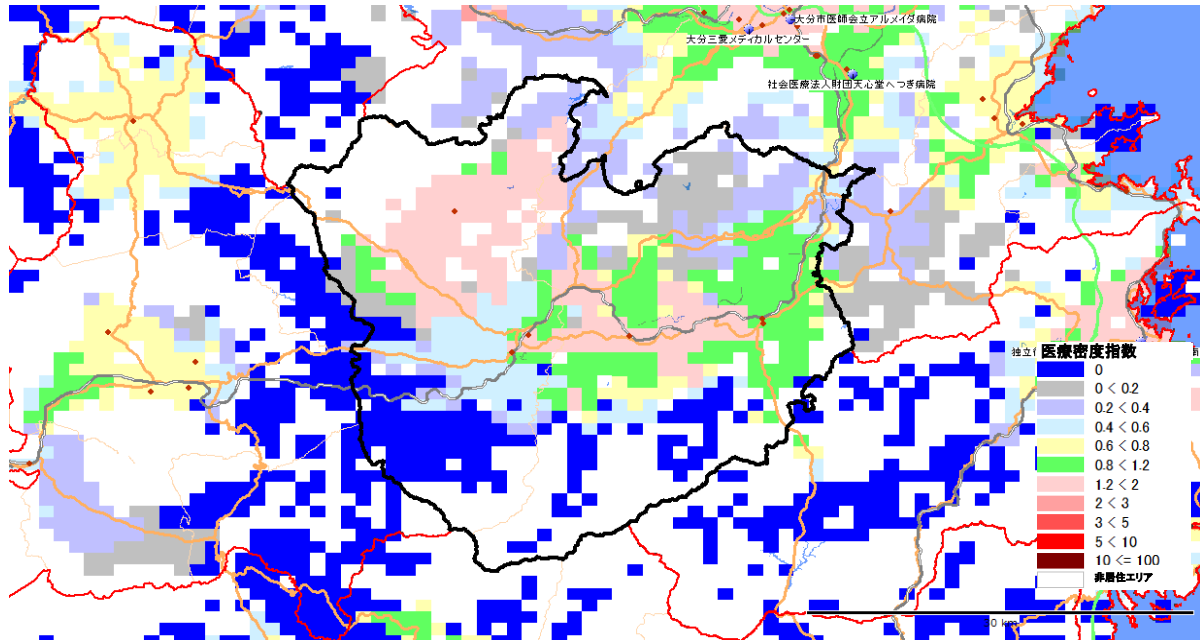
##### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が230床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に182床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、48床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には129床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

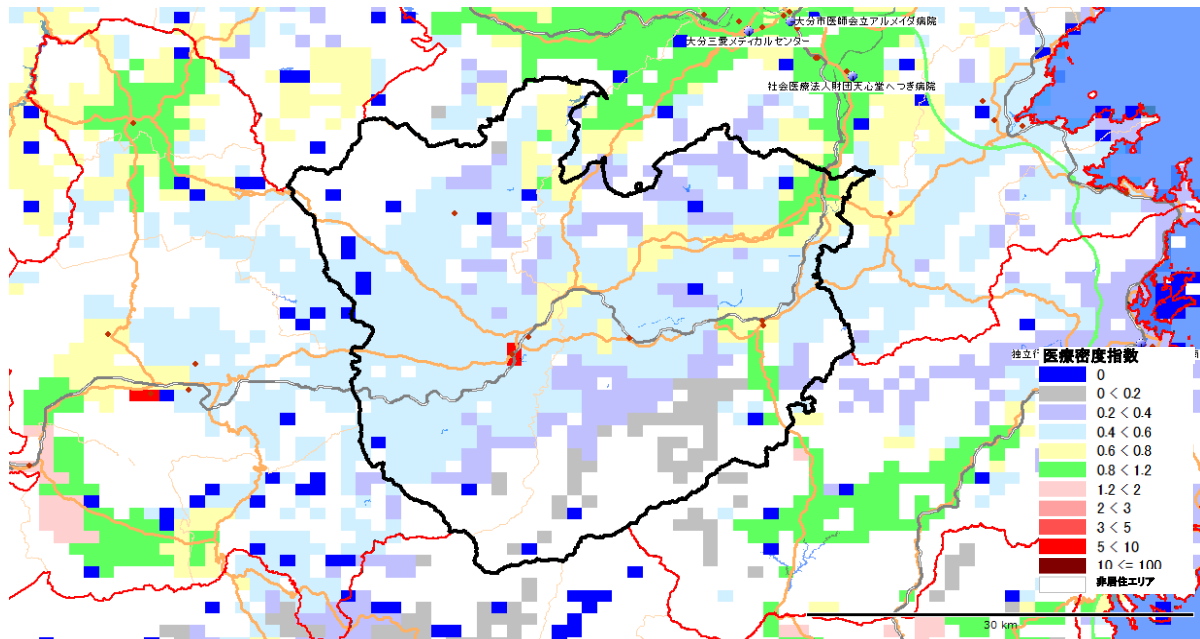


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表44-4-1 急性期医療密度指数マップ



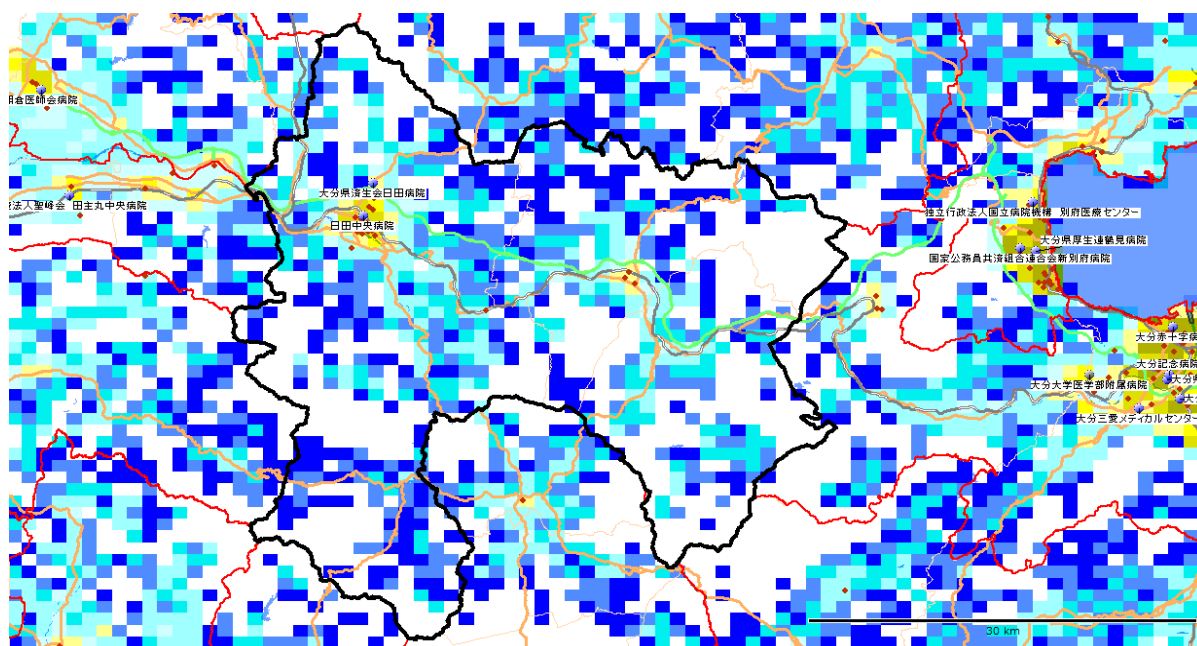
図表44-4-2 慢性期医療密度指数マップ



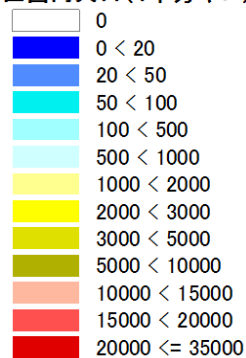
# 44-5. せいぶ西部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [且田市](#) [九重町](#) [玖珠町](#)

人口分布<sup>1</sup>（1km<sup>2</sup>区画単位）



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院



## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(日田市)は、総人口約93千人(2015年推計)、面積1224km<sup>2</sup>、人口密度は76人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に82千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に66千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて19千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値58)、介護給付費は281千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状：総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1375人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1062床(偏差値51)、高齢者住宅等が313床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1316人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住39である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、207人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2040年の需要予測：2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年103549人が、2015年に93032人と10%減少し、2025年の人口が82278人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

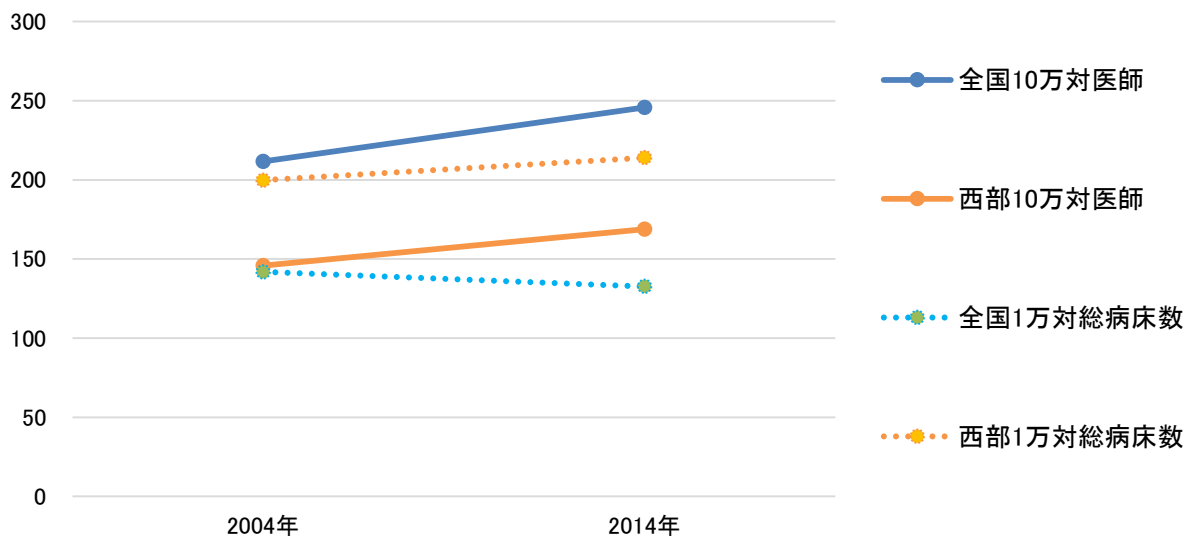
2004年の病院数が21(人口10万人当たり20.3病院(全国平均7.1)偏差値84)であったが、2014年に21(人口10万人当たり22.6病院(全国平均6.7)偏差値89)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に77(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が2069床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1991床(人口1万人当たり214(全国平均133)偏差値64)と、78床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

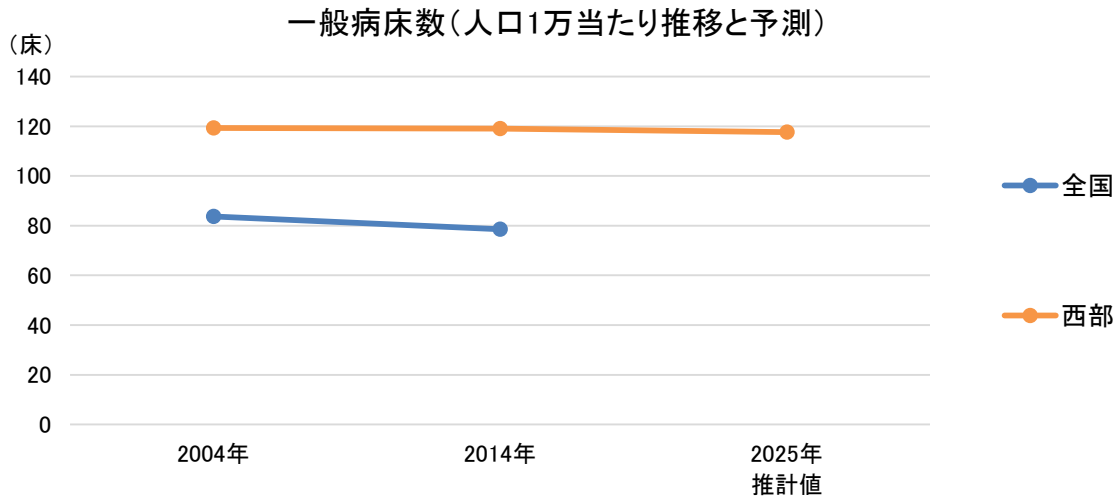
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が151人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に157人(人口10万人当たり169人(全国平均246人)偏差値42)と、6人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



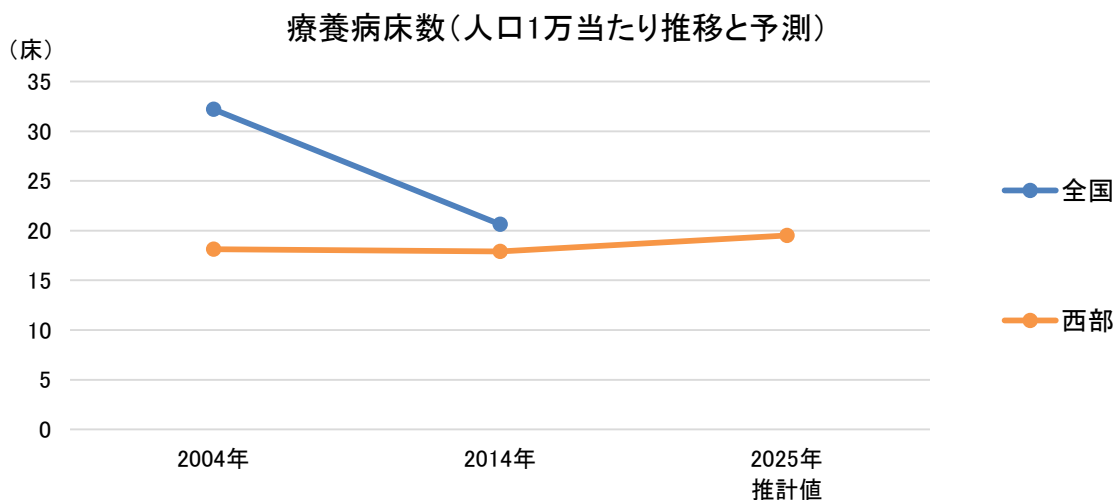
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1235床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に1108床(人口1万人当たり119(全国平均79)偏差値65)と、127床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には968床(2025年の推計人口1万人当たり118)になることが予想される。



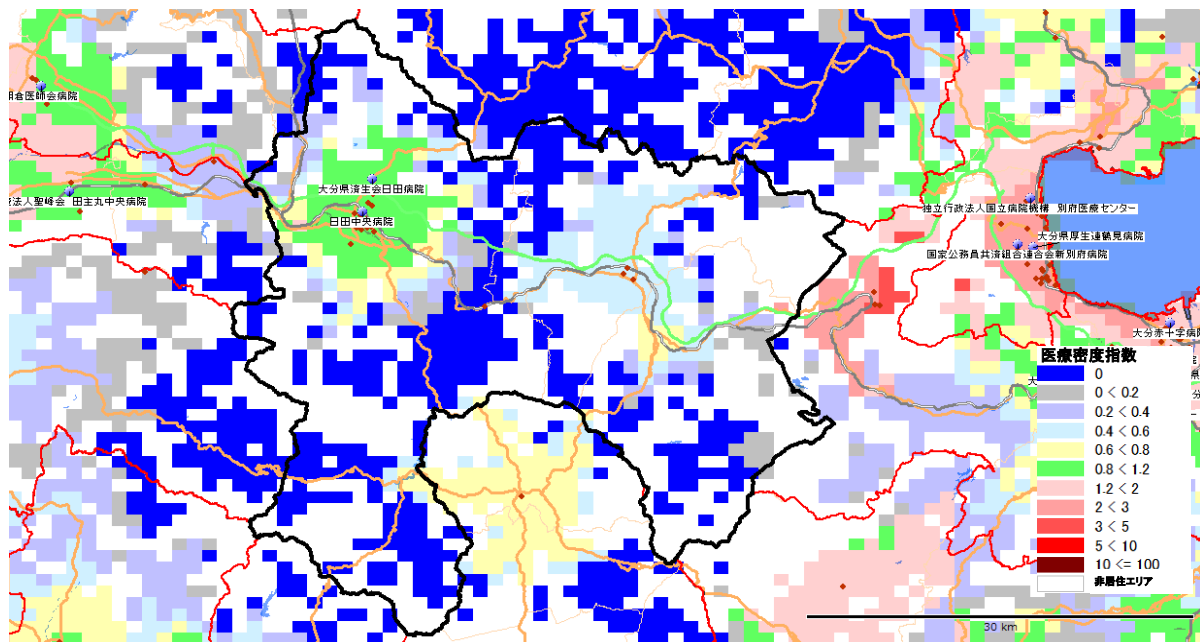
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が263床(75歳以上1000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に312床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、49床の増加、率にして19%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には366床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

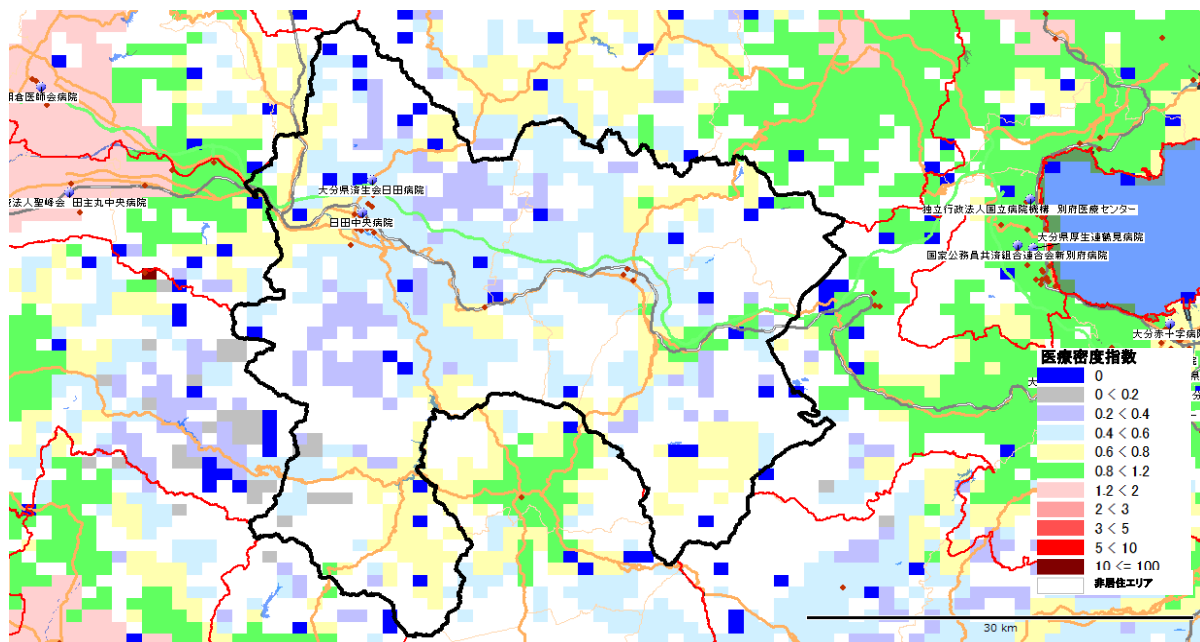


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表44-5-1 急性期医療密度指数マップ



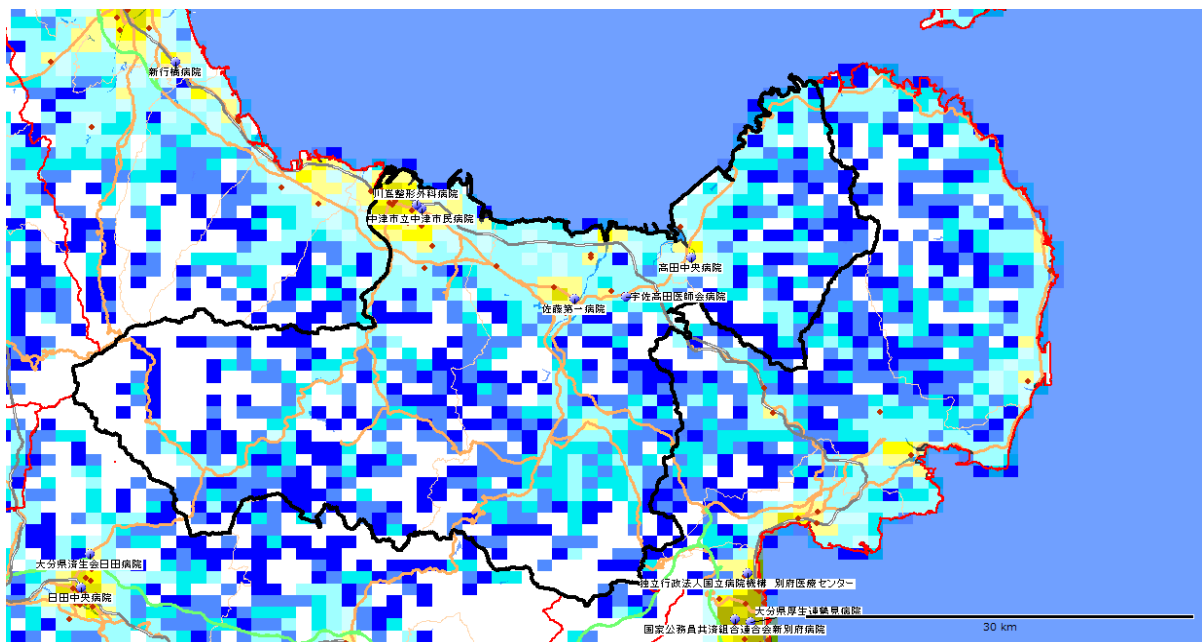
図表44-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 44-6. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [中津市](#)      [豊後高田市](#)      [宇佐市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （北部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 北部(中津市)は、総人口約162千人(2015年推計)、面積1137km<sup>2</sup>、人口密度は143人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 北部の総人口は2025年に150千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に129千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて30千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 北部の一人当たり医療費(国保)は381千円(偏差値65)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数45、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の中津市立中津市民病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値43と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2609人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1788床(偏差値54)、高齢者住宅等が821床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2007人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住49である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、414人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は±0%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年170291人が、2015年に162016人と5%減少し、2025年の人口が149523人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

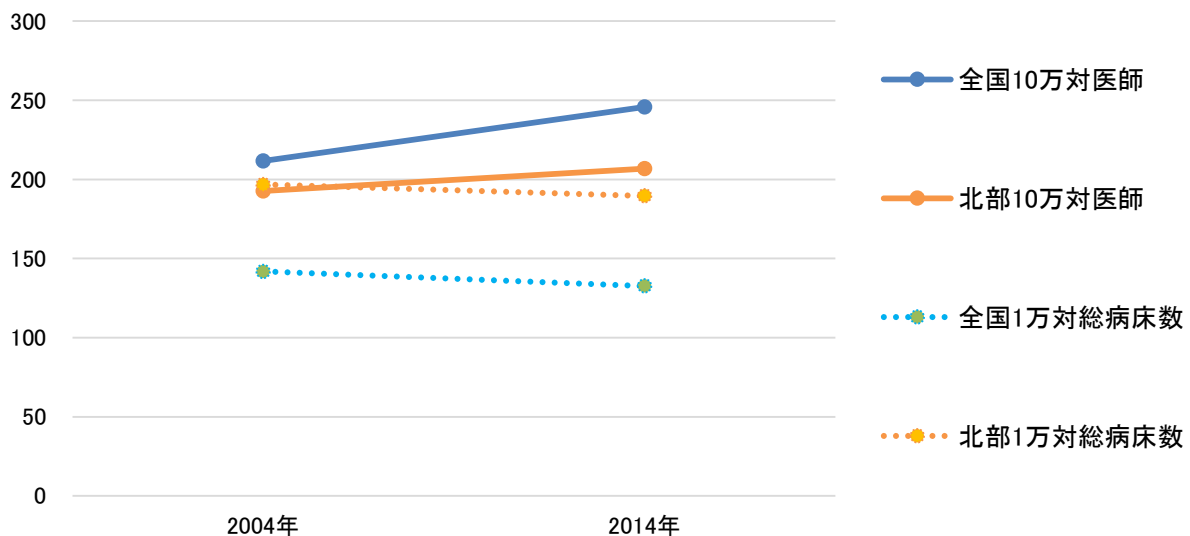
2004年の病院数が24(人口10万人当たり14.1病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2014年に24(人口10万人当たり14.8病院(全国平均6.7)偏差値70)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が142(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に131(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が3350床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に3071床(人口1万人当たり190(全国平均133)偏差値60)と、279床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が328人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に335人(人口10万人当たり207人(全国平均246人)偏差値46)と、7人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

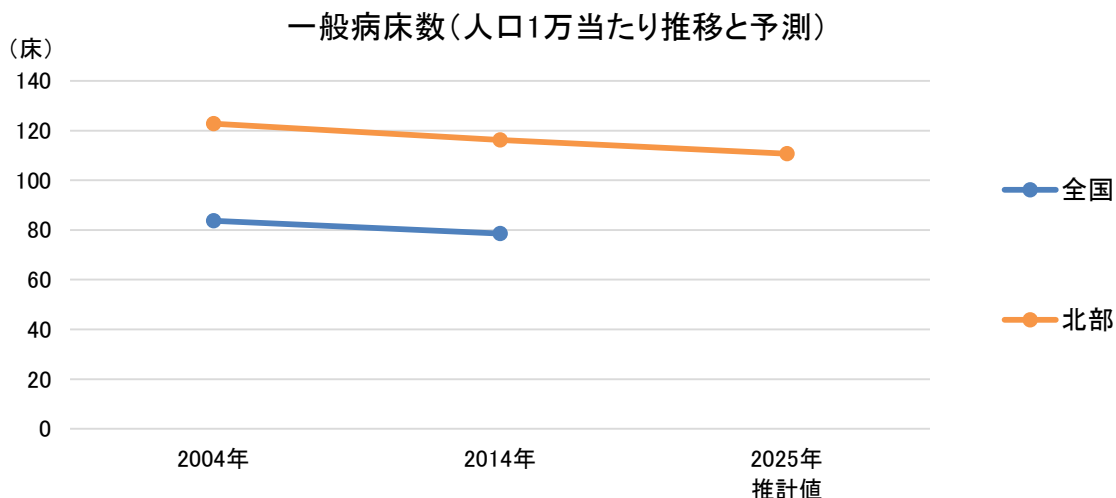
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



#### 44. 大分県（2016年版）

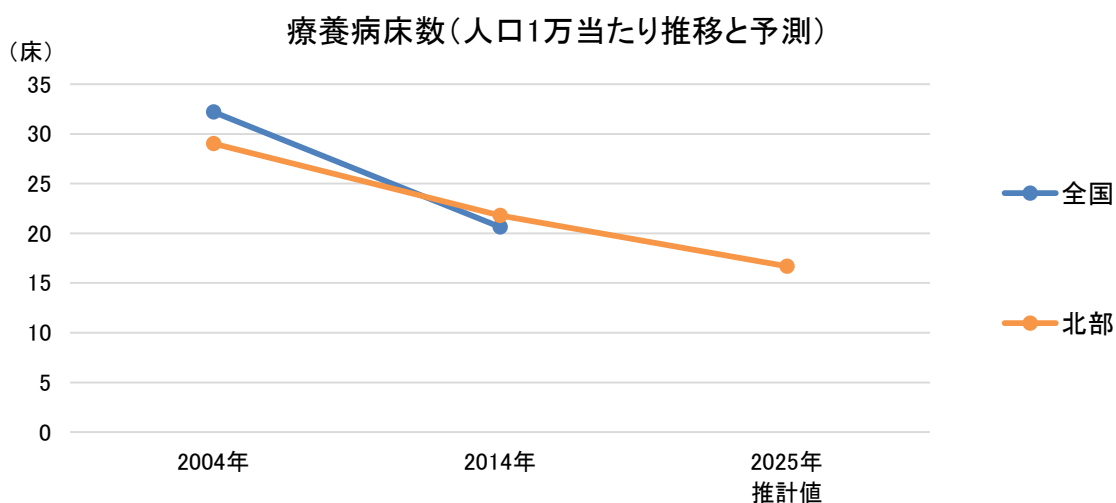
##### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2090床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2014年に1883床(人口1万人当たり116(全国平均79)偏差値64)と、207床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1655床(2025年の推計人口1万人当たり111)になることが予想される。



##### 【療養病床の推移と今後の予測】

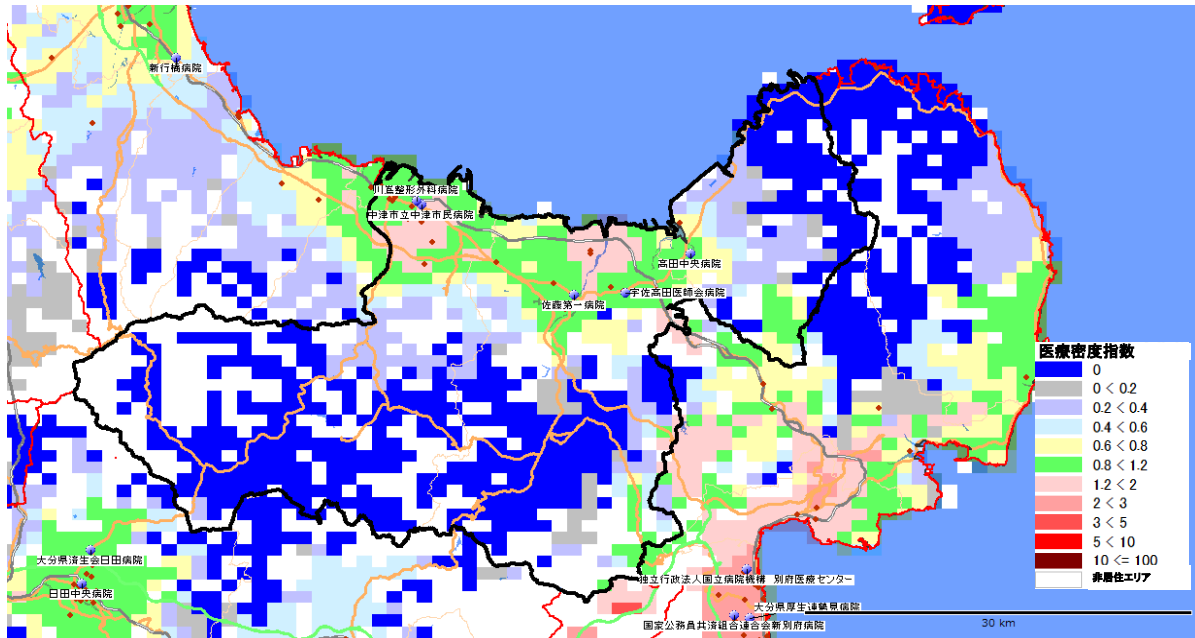
2004年の療養病床(病院+診療所)が681床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に596床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、85床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には503床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



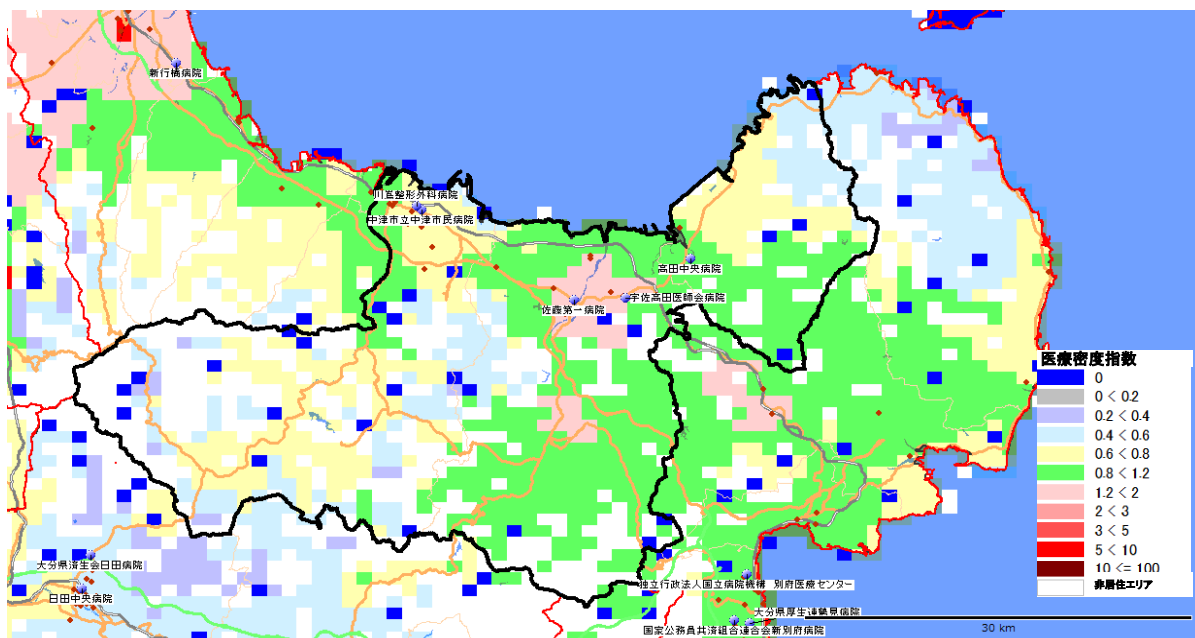


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表44-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-6-2 慢性期医療密度指数マップ



## 44. 大分県（2016年版）

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画（1km<sup>2</sup>メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km<sup>2</sup>以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km<sup>2</sup>）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km<sup>2</sup>未満）。白色は非居住地。  
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。